



学校だより

CONTENTS

巻頭言 群馬高専を旅立つ皆さんへ／校長 三谷 卓也	2
特集＜第 59 回卒業式・第 29 回専攻科修了式を迎えて＞	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
教職員からはなむけの言葉	22
退任挨拶	24
NEWS&TOPICS	26

第134号

2025.3.12 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
 National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)

巻頭言

群馬高専を旅立つ皆さんへ

校長 三谷 卓也

卒業生・修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。
最近読んだ本に、こんな一節が載っていました。

尊敬するある技術者が私に言った
技術者は大事な仕事がたくさんある

設計や検証、部品選りや特許など様々な仕事をこなし
今まで無かったものを世に送り出すのも立派な技術者だが
世に送り出したものが作り出す未来までも“設計”でき
てこそ真の技術者である...

確かに、私たちの周りには、色々な製品やサービス、そしてそれを支える技術が溢れています。これらはかつてあったものを改良し、または新たに生み出されたものですが、それによって、開発時には想像でしかなかった、あるいは想像すらできなかったような使われ方、製品や技術、さらにはそれ

らによる新たな社会が生み出されています。

皆さんは、これから技術者として設計や検証等々様々な仕事をこなし、新たな製品や技術を世に送り出していきましょう。

でも、皆さんにはそれだけに止まらず、群馬高専で得た知識・技能・経験を糧にチャレンジし続けることでより一層成長し、自分達が世に送り出した製品・技術がどのような未来を創り出すのかを「設計」できるような「真の技術者」として活躍されることをお祈りしています。



特集

第59回卒業式・第29回修了式を迎えて

卒業・修了おめでとう!

教務主事 辻 和秀

群馬高専を卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。まだ幼さの残る入学当時の自分自身と比べて、今のみなさんは肉体的にも精神的にも大きく成長したと思います。高専生として過ごした時間は、何かを学び、何かに熱中しつつも、悩み、迷い、もがいた時間だったことでしょう。新型コロナウイルスの影響で学校生活は順調にいかなかったかもしれません。高専生活を通して自分自身におこった変化に対して、現時点では肯定的な面も否定的な面も思い浮かぶ事と思いますが、その評価をくださるのを少し待ってもよいでしょう。5年もしくは7年の学びや悩みなどの様々な経験は、今後続く学びや経験とともに、皆さんの中で熟成して、これからも皆さん自身を成長させてくれると思います。卒業生・修了生の皆さんには、今後必要な時に必要なものを学ぶ力がついています。皆さんはいつか花開く準備ができていると信じて、これから活躍してください。

人生は不思議

学生主事 櫻岡 広

本科5年生・専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんの年齢の時に私は何をしていたか約40年前のことを思い出しました。

20歳の3月は、4月から始まるオープン戦に向けてアメリカンフットボールの練習をしていました。打倒日大（当時学生No.1。ほんとに強かったです）を目指して、毎日汗まみれ土まみれになって過ごしていました（秋の関東学生決勝では日大に負けました）。

22歳の3月は卒業式を終え、進路として日体大大学院の試験は無事に合格したのですが、後の指導教員となる先生の研究室になかなか入れてもらえず、先生のところに行っては追い返されるを繰り返す日々でした。私は皆さんとは違い、受験というものに、ほぼ失敗してきました。でも、それらを後悔したことはありません。失敗した受験のどれか一つでも合格していたら、今の私はありません。群馬に来ることもなかったし、皆さんと会うこともなかったでしょう。そう考えると、人生とは不思議なものです。

今、卒業・修了を迎えるにあたって不安を感じている人もいるかもしれません。受験や就職試験で思いどおりにいかなかった人もいるかもしれません。でも、どんな不安や失敗があっても、前を向いて進んでいけば何とかなるというのが私の経験です。40年後、皆さんはどうなっているでしょう。振り返ったときに悔いのない人生を歩んでください。

特集

第59回卒業式・第29回修了式を迎えて

「失敗したくない」から成功は生まれない

寮務主事 佐々木 信雄

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。

昨今の半導体関連のニュースを見ていると、少し明るい兆しが見えてきたのを感じます。今後半導体分野に進む学生が増えることを期待しています。とはいえ、最先端のプロセスが開発されても、結局何を作るのかが重要です。AIなどで他国の後塵を拝している現状では、日本が再び半導体でトップを取るのには難しいかもしれません。

半導体が「産業のコメ」だとすれば、電子回路はゴハンです。炊飯器でご飯を炊けば大体失敗しませんが、同じものしか作れません。土鍋で失敗や試行錯誤を繰り返してこそ、新しいものが生まれます。かつて日本が半導体分野で成功した裏にも、沢山の失敗があったのだと思います。

皆さんもこれから沢山失敗して下さい。そしてそこから新しいものを生み出して行ってください。皆さんの今後の成長を楽しみにしています。

後援会会長 吉田 涼子

入学当初はコロナ禍により様々な行事の制限などが続き、それが明けてからは、以前の当たり前が当たり前でなくなった新しい価値観の中で、試行錯誤しながら、皆さんは入学当初からは想像できない程、大きく成長されました。

人生には予測できない苦難が時として訪れる時があります。その時に嘆いて立ち止まるのではなく、どうやって乗り越えていこうかという智恵を絞れるかが、本当の賢さであり強さであると思います。

この未曾有の苦しい時期を、群馬高専のかけがえのない友人や先生方と共に乗り越え、今日という日を迎えられた皆さんは、その賢さと強さをしっかりと身につけていると信じております。この2つを武器として、今胸に抱えている小さな夢を決意に変え、これからの素晴らしい未来を歩んでいって下さい。

最後に、卒業生・修了生の皆さんの輝かしい門出に、群馬高専後援会を代表して大きな拍手と声援を贈ります。ご卒業・ご修了、本当におめでとうございます!

社会人としての能力向上を

同窓会会長 細谷 功

学科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今後、皆さんは専攻科や大学へ進む人、社会人となる人とそれぞれの道を進んでいくわけですが、今までこの高専で学んだ事は、各専門分野の基礎を勉強しただけです。これからも高専で学んだ事を基礎としてより専門的な技術や自身で不足している知識の習得に努めてください。

現在の日本は、高齢化や少子化が毎年進み、労働者人口が減少する厳しい社会となり、終身雇用も崩壊すると言われている状況です。その中で生き抜くためには、一人一人が付加価値の高い仕事を行い、稼ぐ能力を磨くことが大切です。その為には、社会人として思考力、判断力、表現力を更に養うことが重要です。また、製造関係の企業の場合は「品質管理」の知識を習得しておく事も重要です。これからも学ぶ姿勢を忘れずに目標に向かって努力を続け、悔いのない人生が送れるよう頑張ってください。

最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

先輩方卒業・修了おめでとうございます

学生会会長 3C 高橋 凌大

5年生・専攻科2年生の皆様、卒業・修了おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。ここまでの5年間もしくは7年間、とても長いようで短い学校生活だったと思います。友達と遊んだり、学校行事を全力で楽しんだりした良い思い出も多い反面、レポートやテストなど大変なこともたくさんあったと思います。しかし、それらを乗り越えてきた皆さんは、この先何があろうとも自信をもって前に進んでいけるはずです。

皆さんは、普通の高校生、大学生とはちょっと違う道をこの群馬高専で歩んできたことかと思います。そのちょっと違う唯一無二の経験を生かし、これから歩いていく新たなステージにおいても胸を張って頑張ってください。

最後に、皆さんはそれぞれが唯一無二の才能と可能性を持っています。それらを信じて未来に向かって頑張ってください。これからの皆さんのご活躍を心からお祈りしています。



心すなほに

機械工学科 5年 担任 矢口 久雄

ご卒業おめでとうございます。このクラスには色々心配が尽きなかったので、3年間にわたって皆さんを見守ってきた担任としては、感慨深く「卒業」という2文字の重みを感じています。また、ご家族の皆様におかれましては、ご子息・ご息女の新たな門出を心よりお祝い申し上げますとともに、これまでクラス運営について多大なるご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

皆さんは、入学後すぐに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックによって遠隔授業を余儀なくされました。本校は、大学などよりは早く対面授業に戻りましたが、しばらくコロナ禍の対応が続きましたので、皆さんの学業や学びの姿勢に長きにわたって影響を与えてしまったと感じています。また、機械工学科では4年次からカリキュラム変更やそれにともなう学修単位化が本格的に動き出したことも追い打ちをかけてしまいました。

担任になってから、皆さんの授業態度や日々の学習に対する批判をよく耳にしていたのですが、上記のコロナ禍やカリキュラム変更による影響も大きかったと考えています。しかし、自分自身でわかっているように、批判の多くは的外れではありませんし、相応の不利益があったことも事実です。担任として守りきれなかった学生もあり、私にとっても色々と考えさせられた担任経験となりました。ただ、そのような中でも、自分たちはダメなんだと決めつけて投げ

やりになってはいけないと言ってきたつもりです。

色々ありましたが、5年次の進路決定では各自が非常によく頑張って結果を出してくれ、卒業研究発表会も全体としては良かったと感じています。部活動で大きな成果を挙げた学生たちもいます。実問題に強いという高専生の遺伝子は、しっかりと受け継いでくれたように感じます。もちろん、皆さんの中には高専教育に対して複雑な思いを抱いている人も少なくないと思います。ですが、どんな状況でも教育の底力は確かにあり、ほかでもない皆さん自身がそれを証明してくれたように感じています。

いつの時代にも割り进行う世代は存在します。かつては「就職氷河期世代」や「ゆとり教育世代」などもありました。もしも「どうせ自分なんて」と思いそうになったら、少し立ち止まって考えてみてください。まずは目の前の現実をありのまま受け止め、そのうえで、自分の心に素直にしたがって、いまやれることをコツコツと続けてみてください。コロナ禍で先行きが見えない中で成長してきた皆さんなら、きっと明るい未来を掴むことができると思います。かつて私の恩師がある言葉を送ってくれました。いま皆さんにも万感の思いを込めて同じ言葉を送ります：

“心すなほに”

どうか幸せな人生を送ってください。さようなら。

忘れられない5年間

機械工学科 5年
山崎 朝陽

5年前、中学生だった頃から何もかもが変わりました。5年前の自分は高専で何を学ぶのかよく分からないまま、少し不安と期待を抱えつつ、「機械」や「ロボット」といった漠然とした興味で入学しました。それから5年間を経て、多くの部分で成長を実感する一方、まだまだ学ぶべきことがたくさんあると痛感しています。

皆さんは、高専での自分を振り返ったとき、どのような変化や成長を思い出しますか？つらい経験や達成感を得られた瞬間が、5年間の間で多くあったかと思います。テスト勉強を前日の夜（はたまた朝になってから）に必死でやった、実験がうまくいった、など人それぞれいろいろな思い出があることでしょう。私は、部活や研究で直面した多くの困難が記憶に残っています。なかなか思うように進まず、何度もやり直しを重ねて夜遅くまで取り組む日々は、決して楽なものではありませんでしたが、その分うまくいったときの達成感は大きく、何よりも貴重な経験になりました。こうした経験は、どれも今後の人生できっと役に立つものだと思っています。

最後に、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。多くのことを教えてくださった先生方、苦しい場面でも一緒に頑張った友人たち、そしていつも支えてくれた家族、本当にありがとうございました。この5年間で大きく成長することができました。

保護者より

ロボットウォークからの・・・未来へ

機械工学科 5年
山崎朝陽さんの保護者
山崎 晶久

息子、3歳の頃である。歩く姿は膝を曲げた独特ロボットウォーク、抱っこをすると手足を収納して四角い状態、友達にちょっかいを出すときは腕を真横にあげるロボットパンチ。恐らくほとんどの人はわからないと思うので「ROBO-ONE」と検索していただくと二足歩行ロボットの動画があるので興味のある方は見ていただきたい。

そんな動きをするようになったのも理由がある。父が大きいロボット好きであり、趣味のROBO-ONE観戦に毎回息子を連れて行った影響である。当然ROBO-ONE会場でも生のロボットを見て得意のロボット演技を披露。結構人気者であった。

機械いじりが好きで群馬高専に入学。ロボット研究会へ入り毎日遅くまで活動。3年生の時には関東甲信越地区大会で優勝、全国大会に出場し国技館へ応援に行くことができた。感動を共にすることができた。父が若かったら一緒にロボ研に入りたかった。

父がやりたかったことが5年間出来て羨ましい限りである。無事卒業ということで、本当にうれしく涙が出そう。

高専に入学し、直ぐに寮に入り地元の友人がいない中で学校生活、馴染めるかどうか不安であったが、とてもたくましく成長出来た。これもひとえに先生方、後援会の皆様、共に学んだ学生の皆様のおかげ。

卒業される皆様、高専は卒業しますが、まだ学ぶ機会は続く。悔いのないよう常にチャレンジ精神でこれからの人生を謳歌してほしい。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (7)
秋田大学理工学部機械工学コース (2)
東北大学工学部機械知能・航空工学科
宇都宮大学基盤工学科機械システム工学コース
群馬大学理工学部電子・機械類
東京農工大学工学部機械システム工学科
国土館大学理工学部理工学科・機械工学系
新潟大学工学部機械システム工学プログラム
長岡技術科学大学工学部機械工学分野 (5)
長岡技術科学大学工学部電気電子情報工学分野
山梨大学工学部機械工学コース (2)
豊橋技術科学大学工学部機械工学課程 (3)
早稲田大学創造理工学部総合機械工学科
学習院大学理学部物理学科

就 職

独立行政法人水資源機構 (2) 株式会社タダノ
株式会社 IHI シャープ株式会社
株式会社 JAL エンジニアリング 三菱電機株式会社
株式会社 SUBARU
株式会社重松製作所





逆境を乗り越えて

電子メディア工学科 5年 担任 **五十嵐 睦夫**

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、ご家族の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。本日の良き日が迎えられたことは、ほんとうに奇跡のようなできごとと思えてならず、感無量です。

この学年が入学したのは、非常事態宣言が発令された直後のまさに強力な休校措置がとられていた時期でした。入学式は実質的に取りやめ、そして入学初日は教室にも入らずに校庭で最低限の注意点が周知されてあっという間に解散、という流れでした。このような異例のスタートの様子は、その当時にたまたま教育運営の裏方担当であった私の記憶には色濃く刻まれています。今でも私の脳裏には、その光景が鮮明に浮かび上がってくるほどです。その当時は、こんな状態で果たして学校はその教育機関としての務めを果たして行けるのだろうか、押し寄せる不安をかき消すことに精一杯でした。そしてその後に授業開始となっても、夏までは遠隔授業のみの日々でした。学校生活の実感もなく、漠然と日々を過ごしてしまった学生も見受けました。うまくスタートが切れなかったからか学校を去っていつ

た人もおり、心を痛めていました。

そんな生活もその年の夏頃から徐々に正常化していき、8月から9月にかけては部分的に対面式の補講授業が行われました。4月より遠隔授業がおこなわれてきたものの、教員側にとっても8月になって初めて顔を見た学生が多数いました。こうやって学校はだんだんと元に戻って行くのだと、安堵の気持ちを覚えたものです。こういった過程をたどりながら後期からは平常に近い形での登校が始まり、今日に至ったわけです。

以上のような経験は、そうそう滅多にあるものではありません。皆さんは、そのような逆境に打ち勝って卒業にこぎつけました。非常事態宣言にも打ち勝ったという素晴らしい経験力が備わっているのです。ここはぜひそれを逆手にとり、未来を切り開く力としていつて貫えればと思います。社会に出て経験するであろう、学校とはまた違った困難や喜びと真摯に向き合い、充実した人生を獲得していつてください。

今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

緊急事態宣言からの入学

電子メディア工学科 5年
岡本 暖之

群馬高専卒業生の皆様へ
この度はご卒業、誠におめでとうございます。
振り返ると、2020年初めに「高専という学校があるらしい」という何気ない一言がきっかけでした。調べてみると、なぜか埼玉県には高専がなく.. (中略)
何も分からないまま学校説明会で、群馬県を訪れたのが始まりです。
広々としたキャンパス、充実した設備、そして学生たちの明るい笑顔に感動し、「ここならチャレンジしてみれば」と言ったことを覚えています。
その後、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され、入学式の中止、入寮制限、オンライン授業など、予想だになかった状況が続きました。本人だけでなく、先生方やご家族も、この未曾有の事態に心を揺さぶられたことでしょう。日々、不安と戦いながらも、この激動の時代を乗り越えた経験は一生忘れることのできない貴重な思い出となったはずで。普通に授業を受け、部活動を行い、仲間と喜びを分かち合う、こうした当たり前の日常の大切さを改めて痛感しました。この時期を乗り越えられたのは、先生方、家族、そして共に学び、支え合った仲間のおかげです。社会に出てからも、高専で学んだことを活かし、様々なことに挑戦し続けてください。そして、いつかまたこの群馬高専で再会できることを楽しみにしています。
改めて、群馬高専の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者より

学生に乾杯！

電子メディア工学科 5年
野口 蒼一郎さんの保護者
野口 文健

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。そして日頃よりご指導くださいました教職員の皆様にお礼申し上げます。
思い返せば5年前の推薦入試の際、「学生と生徒の違いは」という問いに我が子は「学生は主体的に勉強する者」と答え感心したことを覚えています（その試験は見事に落ち一般入試で無事合格したのですが）。
改めて学生とは何者でしょう。勉強できる環境があり指導してくださる先生方がいらっしゃる事が前提ですが、知識を習得し職能を開発し特定分野での雇用を得やすくすることを目的に学習している者。つまりは専門分野を学ぶ高専生に合致するように思います。興味のあることを素直に学ぶ喜びは社会人目線で見れば贅沢で恵まれていることです。学習する環境を築いてくれた保護者、ご指導くださった先生への感謝を忘れないでください。
これから進学する者、就職する者それぞれの道に別れていきます。10代後半の多感なこの5年間、共に歩んだ仲間は一生の宝物です。そして卒業後また再会することがあるでしょう。その時はもう立派な社会人です。お酒を飲みながら高専時代の思い出話を花を咲かせてみてください。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (7)
室蘭工業大学理工学部創造工学科電気電子工学コース
東北大学理学部数学科
茨城大学工学部電気電子システム工学科
群馬大学情報学部データサイエンスプログラム
新潟大学工学部電子情報通信プログラム
長岡技術科学大学工学課程電気電子情報工学分野
山梨大学工学部電気電子工学科
信州大学工学部電子情報システム工学科
名古屋工業大学工学部物理工学科
鹿児島大学工学部先進工学科情報・生体工学プログラム
早稲田大学基幹理工学部応用数理学科
早稲田大学基幹理工学部電子物理システム学科
東京電機大学工学部情報通信工学科
進学希望

就職

三菱電機エンジニアリング株式会社 スズキ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 株式会社プランニング
西日本旅客鉄道株式会社 株式会社メイテックフィルダース
株式会社LIXIL (2) 株式会社関電工
株式会社アドバンテスト 日本原子力発電株式会社
サントリープロダクツ株式会社 株式会社日立ハイシステム21
株式会社ジャノメ





社会の変化に対応できる人財として

電子情報工学科 5年 担任 **渡邊 俊哉**

5年電子情報工学科の皆様、ご卒業、おめでとうございます。

私は4年次から5年次にかけて、皆様の正担任を担当させていただきました。正担任となるのは初めてであったため、慣れない中様々なご不便やご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、2年間お付き合いいただきありがとうございました。

さて、皆様が入学した令和2年度は日本におけるコロナ禍の始まった年であり、群馬高専全体でも大きく混乱していた年でした。皆様にとっては、入学当初、高専での勉強の仕方も知らないままTeamsを用いた遠隔授業に切り替えざるを得なくなり、不安もさぞ大きかったのではないのでしょうか。我々教員側においても懸念は大きく、どのように学生に学習を継続してもらうか、どのような対応が学生にとって良いのか等、当時は毎週のように会議を行っていました。私は当時、1年次の電子情報工学科の副担任でありましたが、本当に問題なく遠隔授業を受けてもらえるか少し不安でした。しかしながら、皆様の方は思ったよりもすんなりと対応していて少々驚いたことを覚えています。私も元高専生ですが、学生時代にこのような対応力を持っていたかといわれると、多分なかったと思います。このような状況下で皆様が今まで

努力を続け、自らの進路を確定できたことは誇るべき成果です。コロナの影響により様々な行事が実施できなかったことは非常に残念ではありましたが、大きな環境の変化にも対応することができたといった経験はこれからの皆様にとって大いに助けになるでしょう。

5年次の卒業研究、どうだったでしょうか。最初に立てた計画の通りに進めるのは非常に難しかったと思います。それでも最後まで研究を進め、発表まで自身で研究を進め成果を発表するといった一連の流れは、普通高校ではなかなか得られないものです。進学する方は再び研究に向き合うことになりますが、次はもっとうまく研究を進められることでしょう。就職する方やその他の進路を選んだ方も、この経験を活かし自身の業務の成果に繋げてもらえればと思います。

私も常々、頑張らないとなあと思っているところですが、社会は常に変化しており、学習を続けていかなければ知識が古くなってしまいます。皆様も日々、社会の変化を見極めながら、知識をアップデートしていくことに努めてください。とはいえ、皆様はすでに大きな変化に対応できているのですから、何ら心配することはないでしょう。

皆様のこれからのご活躍を楽しみにしております。

AIとこれからの未来

電子情報工学科 5年
石井 順成

群馬高専卒業おめでとうございます。高専で過ごした日々はなかなか強烈で忘れることのない日々だと思います。

図書館や実験室にこもり、遅くまで課題に取り組んだ日々。何度も試行錯誤を重ね、「なんで動かないんだろう」と頭をひねった実験回路やプログラムが、ようやく思い通りに動いたときの達成感。友人たちと意見を交わしながら、新しいアイデアを形にしていた時間。授業で学ぶだけでなく、部活動やイベントを通して得た仲間との絆。どれも高専だからこそ体験できた特別な思い出だったのではないのでしょうか。

情報工学という分野も、まさにそのような挑戦と達成の積み重ねで成り立っています。技術は日々進化し続けていますが、その基礎となる「試して、考えて、工夫する」という姿勢は、これからも変わらないものだと思います。高専での学びや経験が、今後さらに皆さまの活躍の場を広げていくことを願っています。

実はこの文章のほとんどの文をGPTに考えてもらって作成しました。かなり違和感のない仕上がりになっているのではないかなと思います。このようにAIが発展する世の中ですが、高専で学んだことを活かしてきっと皆が活躍できると思っています。

保護者より

5年間を振り返って

電子情報工学科 5年
石井順成さんの保護者
石井 由希

群馬高専の卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆さま、お子さまの晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。

もう通うことのない学び舎の前に寂しさ、懐かしさ、新生活への不安や希望等々様々な思いが去来しているのではないのでしょうか。

振りかえれば、皆さんが高専に進学した5年前はコロナ禍真っ只中でした。誰もが未知のウィルスにおびえ社会全体に閉塞感が漂っていました。入学式も急遽教室開催となり、続く授業もオンラインに切り替わりました。自分の意志で選択し、受験を経て楽しみにしていた新生活なのに、新しい友人と直接言葉を交わすこともない異例のスタートでした。親の私でさえ不安に感じたものです。ましてや当事者の皆さんの不安は大きかったことでしょう。

それからの5年間、皆さんは日々学び、成長し、時には壁にぶつかりながらも、自分の力でその壁を乗り越え、ここまで歩んできました。その陰には、どんな状況でも皆さんの学びを提供しようとしてくれた先生方の努力もありました。仲間とともに努力し、支え合いながら目標に向かう大切さや、自らの手で未来を切り拓く力も身につけられたことと思います。その成長を近くで感じられたことは、親としても嬉しく思います。

これからの人生は、これまで以上に広い世界が待っています。新しい挑戦に胸を躍らせる一方で、不安や葛藤もあるかもしれません。しかし、皆さんには高専で培った知識と経験、そして困難を乗り越えてきた強さがあります。どうか自信を持ち、一步一步進んでいってください。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (6)
東北大学工学部電気情報物理工学科
筑波大学情報学群情報メディア創成学類
群馬大学理工学部電子・機械類 (2)
群馬大学情報学部データサイエンスプログラム
長岡技術科学大学工学部情報経営システム工学分野
長岡技術科学大学工学部情報・経営システム工学分野 (4)
金沢大学理工学域フロンティア工学類
山梨大学工学部コンピュータ理工学コース
豊橋技術科学大学工学部情報・知能工学課程
滋賀大学データサイエンス学部データサイエンス学科
神戸大学理学部数学科
高知大学理工学部情報科学科
東京都立大学システムデザイン学部インダストリアルアート学科
東京都市大学情報学部情報科学科
東京福祉大学教育学部教育学科
工学院大学情報学部情報デザイン学科 (2)
研究生
進学希望

就 職

インフォコム東日本株式会社
マクロ株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社
株式会社アウトソーシングテクノロジー
株式会社イシダ
東京ガスネットワーク株式会社 (2)
自由業
就職希望 (4)





さて、人生の1/4を高専で過ごした訳ですが

物質工学科 5年 担任 出口 米和

学生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様におかれましては格別の思いで卒業の日を迎えられたことと思います。本日のご子息、ご息女の門出を心よりお祝い申し上げますとともに、これまでクラス運営についてのご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。みなさんはぜひ感謝の気持ちをご家族に伝えるようにしてください。

この原稿を書いている時に日本人選手として初めてアメリカ野球殿堂入りを果たしたイチローさんのニュースがありました。印象に残った部分を少し引用させていただきますと、殿堂入りのための投票結果が1票足りなかったことに対して、残念だったというのではなく、1票足りなかったことがよかったことだと前向きに捉えた発言をされ、人はいろいろなことが足りないから、自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思う。さらに、不完全であることはよいことで、生きていくうえで不完全だから進もうとできる。とコメントされていました。

さて、みなさんにとって高専での5年間はいかがだった

たでしょうか。卒業時では人生の1/4（割合にして何と25%です）を過ごしたことになります。約1年間かけて取り組んだ卒業研究では、当初の目標までどのくらい階段を登れたでしょうか。中学生の時に高専で学んでみたい、こんなことをやってみたいと考えていたことはどのくらいできましたか。多くの人は「100%ではなかった」と感じていると思います。イチローさんではないですが「1票足りない」と考え、現状に満足することなくこれからの人生を進む原動力としてはどうでしょうか。将来、社会で大きなプロジェクトを成功させる人もいるでしょう（いてください）。大学で新しい発見をする人もいるでしょう（いて欲しいです）。でも、そこに満足することなく「1票足りない」「だから進んでいく」ことでこれからの人生を豊かなものにしてください。

最後になりますが、なににごとも体が資本です。健康に気を付けてお過ごしください。今後のみなさんのご活躍を心から願っております。

大団縁そして

物質工学科 5年
久保田 快翔

私たちの高専生活は、コロナ禍の影響で入学式もなくオンライン授業から始まりました。その頃はクラスメイトの顔を見る機会が少なかったため、初めて登校した日に顔と名前が一致しない人が多かったと思います。本格的な高専生活が始まると学生実験が多くあり、実験ノートやレポートなどの課題に苦労した人も多いと思います。5年生になってからは卒業研究も始まり、データ収集や発表でこれまた苦労したことでしょう。

高専生活では、大変なことだけでなく楽しいこともありました。北海道に行った社会見学旅行、メイドカフェをやった工華祭、休み時間や放課後に友人たちと話した何気ない話など、思い返せば多くの楽しいことがありました。

入学してからの日々はあっという間で5年がたったという実感は湧きませんが、私たちは間違いなく一步一步進んで、今は新たな道のスタートラインに立っています。「大変だな」と思う時もあったかもしれませんが、それらを乗り越えた私たちなら、この先のいかなる困難にも打ち勝てると思います。最後に、私たちが卒業するまで多くの支援をしてくださった各先生方や保護者の方々、苦楽を共にした友人たち、本当にありがとうございました。また元気で会える日を心待ちにしています。

保護者より

それぞれの道へ

物質工学科 5年
佐藤良香さんの保護者
佐藤 恵実

2020年4月、高専での新しい生活のはじまりは、コロナ禍のためマスク着用、ソーシャルディスタンス、登校できずにオンライン授業など本当に未経験の出来事の連続でした。

5年間の高専生活、試験にレポート、卒業研究など休み返上、寝られずに頑張った日々もありました。

我が家には3人の高専生がいます。学科が違っても共通の話題で盛り上がっていることもあり、学科が違うからこそ互いに勉強を教えあう姿も見られました。家では学校で習ったことを話してくれましたが、難しい勉強の話に、親は全くついていけません。学年が上がるたびに難しい内容になり、特に試験前は大変な思いをしていましたね。

「もう嫌だ」と弱音をこぼすこともありましたが、それでも5年間を終えて卒業です。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

大変な5年間だったかもしれませんが、つらい思いばかりではなかったはずです。高専での学びが役に立つ日がきっといつか来るでしょう。

専攻科に行く人、他の大学へ編入する人、就職する人、さまざまですが、新しい場所で良い出会い、良い学びができますように。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (13)
室蘭工業大学理工学部システム理化学科
東北大学理学部化学科
筑波大学理工学群化学類
群馬大学理工学部食品工学プログラム
千葉大学工学部総合工学科・共生応用科学コース
東京農工大学工学部化学物理工学科 化学工学コース
長岡技術科学大学工学部工学課程物質生物工学分野 (4)
信州大学繊維学部化学・材料学科 (2)
豊橋技術科学大学工学部応用化学・生命工学課程
奈良女子大学理学部数物数学科・数学コース
岡山大学理学部物理学科
岡山大学理学部地球科学科
琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科

就職

シミックCMO 株式会社 協和キリン株式会社
信越化学工業株式会社 (2) 東京電力ホールディングス株式会社
株式会社資生堂 株式会社吉野工業所
artience 株式会社 リケンテクノス株式会社
日本パルソン株式会社





間違ふことさえも楽しめるようになろう

環境都市工学科 5年 担任 永野 博之

5Cの皆さん、卒業おめでとうございます。ご家族の皆様におかれましては格別の思いで今日を迎えられたことと拝察いたします。本日のお子様の門出を心よりお祝い申し上げます。5Cの皆さんは、入学直後からコロナ禍に見舞われ、多くの不安を抱えながら1・2年の時期を過ごしたかもしれません。ご家族もまた同様に、多大な心配の中、それでも皆さんを暖かく見守り続けていらしたはずです。卒業という一つの節目を迎えるにあたり、これまでの学生生活を支えて頂いたことに対する感謝の気持ちをご家族に伝えて頂きたいと思います。

皆さんと顔を合わせることが多くなったのは3年生からでした。当時、私が皆さんに抱いた印象は、勉強になるとなぜか失敗をとて嫌がる(体育祭の元気はどこにいった?)などでしたので、進路選択のときに大丈夫だろうかと密かに思っていました。まさか私が皆さんの担任を受け持つことになろうとは夢にも思っていませんでした。担任となって気づいたのは、自分で切り拓くことに遠慮がちな雰囲気があるということでした。模範解答的な方法を知ったならば、それ以上のやり方を探したり、手間

がかかかるやり方をあえて試してみたりすることは無駄なことと捉えているようにも見えました。確かに、効率という観点では試行錯誤は足かせになるかもしれません。早くさばくことができれば、それだけ早く次に進むことができ、省力化や余裕の創出にもなるでしょう。しかし、世の中、答えのない問題ばかりです。自分で答えを作り出すシーンが必ず出てきます。また、卒研で経験した方も多いと思いますが、あれこれと想像を巡らせながら、物事を様々な方向から見たり、深く掘り下げて分析したりすることは案外楽しいことです。答えを作り出す行為を楽しみながら行えるようになれば、困難や問題に遭遇しても、楽しみながら取り組めると思います(その境地に到達できれば、もはや人生を楽しむ達人とも呼べそうです)。早いうちから間違えることや失敗することに慣れ、それも楽しみに変えながら次へ繋げる術を身に付けられれば、人生の多くの時間を有意義で豊かにできるでしょう。若いうちこそがチャンスです。大ごとにならない範囲でたくさん失敗しましょう。皆さん、楽しみながら充実した人生を過ごしましょう！

文章力は向上しなかった5年間

環境都市工学科 5年
菊池 静琉

4歳も歳が離れている5年生を恐れていた1年生の頃から、あっという間に時間が過ぎ卒業研究の本発表も終わり卒業が目前となりました。振り返ってみると、様々な思い出があります。コロナの影響で入学式が中止。クラスメイトと交流を図ることが難しく、思い描いていた学校生活をスタートすることはできませんでした。

入学してから知った留年率の高さ。再試や留年回避のためテスト前に徹夜をしたこと、水理のテストのために全力でパン食い競争を応援したのも今となっては楽しい思い出です。

時には高専を選んだことを後悔したこともあります。でも、女子高校生(JK)とはひと味違った高専女子(KJ)生活を自分らしく楽しむことができたのではないのでしょうか。

そして、私のくだらないギャグに苦笑してくれた大好きな友人、後輩、先輩たち、どんな時でも励まし、優しく相談に乗っていただいた先生方。なにより、たくさんの愛をそいでくれた家族の存在があったからこそ、前向きに進み続けることができました。卒業後はそれぞれの進路を歩むことになり離ればなれになってしまいますが、また笑顔で会える日を楽しみにしています。5年間ありがとうございました。

保護者より

黒猫のいた学校

環境都市工学科 5年
菊池 静琉さんの保護者
菊池 正人

娘から学校だよりもに原稿を書いてほしいとLINEがきました。締め切りは今日らしい。わが娘よ。君はいつも唐突で、いつも最高だ。

中学3年生の冬。まだ受験校を決められていなくて、学校の三者面談で内心どうするつもりなのかな。と不安な中、不意に「あ。高専いいかも。高専にする」とアイスのトッピングを選ぶスピードで受験校は決まりました。おそらく彼女なりのインスピレーションが湧いたのでしょう。

2年の春には、高専の体育館に捨てられていた黒猫を拾ってきた。会議中に何度も電話をかけてきて、渋る私に「だってパパ!黒猫だよ!パパがいつも言っていたコだよ!!」と。

そう。私は娘が小さいころから「パパはいつか黒猫を飼うことになるんだよ」と意味のないうそをついていたのです。もはや逃れる術はありませんでした。

在学中はいつも楽しそうで、事あるたびに「群馬で一番いい学校に入ったと思う」と言っていたので、控えめにみても本人には良い選択だったようです。先生方には感謝しかありません。

所属したバスケット部で2年連続で膝靱帯を断裂するというアクシデントがありましたが朝晩の車の送迎は、私にとっては大事な思い出でもあります。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (5)
筑波大学生命環境学群生物資源学類環境工学コース
群馬大学理工学部物質・環境類
千葉大学工学部総合工学科都市工学コース
長岡技術科学大学工学部環境社会基盤工学分野 (2)
金沢大学理工学域地球社会基盤学類土木防災コース
山梨大学工学部土木環境工学科
三重大学生物資源学部共生環境学科
岡山大学工学部環境社会基盤系都市環境創成コース
愛媛大学工学部工学科社会基盤工学コース
九州大学経済学部経済工学科
熊本大学工学部土木建築学科
前橋工科大学工学部建築・都市・環境工学群土木・環境プログラム
立命館大学理工学部都市システム系環境都市工学科

就 職

東京都庁
前橋市役所
独立行政法人理化学研究所計算科学研究センター
東日本旅客鉄道株式会社
東海旅客鉄道株式会社
鹿島建設株式会社 (2)
株式会社波多野調査設計
信越化学工業株式会社
河本工業株式会社
大成建設株式会社
東芝ITサービス株式会社
株式会社GIS関東
東京水道株式会社





インターネット、使わせられていませんか？

専攻科長 大墳 聡

専攻科修了性のみなさん、修了おめでとうございます。ここには、贈る言葉を書くことになっています。専攻科長も3年目でこの欄に書くのは3回目となります。今回は「インターネット、使わせられていませんか？」です。

みなさん毎日(意識することなく)インターネットを利用しているのではないのでしょうか。SNS、動画、ゲーム、マンガ、ニュース、通販、…。2018年の1年生保護者アンケートからは、高専入学時みなさんの8～9割がスマートフォンを所持していたとわかります。2018年ころがどうだったか調べると、「インスタ映え」が流行語になっていたみたいです。またInstagramのストーリー機能により、2013年ころのTwitterによるバカッター(炎上するような書き込み)の再来でバカスタグラムのころであったようです。みなさんはそのころのような使い方をしていましたか、そして今の使い方はどうでしょう。

おいしいものを食べると、脳内にドーパミンが分泌され幸せな感じになります。新しい刺激を受けると(というか受けようとする)やはりドーパミンが分泌されるとい仕組みがあるそうです。過剰なドーパミン分泌が依

存の原因となるのだそうです。

ショートムービーを次から次に観るとか、ゲームの操作で状況が変わるとか、自分の書き込みに反応があるかと確認するとか、面白いニュースを見つけるとかで、ドーパミンがドパドバ分泌となるわけです。スマートフォンなどの端末は、指先だけで操作しやすい機能となっています。アプリの切り替えも即時に簡単にできるため、誰か書き込みに反応したかなあ、面白いムービーあるかなあと、アプリを切り替えるだけでもドーパミンがドパドバです。今のネット利用は、依存しやすい仕組みとなっています。みなさんは、インターネットを使っているつもりでも実際にはインターネットを使わせられているということはありませんか。

インターネット利用は依存しやすい罠がありますが、みなさんはこれからの人生でインターネットを使わないで生活や仕事(進学する学生は勉強・研究)はできないでしょう。インターネットサービスやネット端末の特徴を理解して上手に使っていきましょう。

7年間も高専に！？

生産システム工学専攻 2年

今泉 拓巳

気が付けば本科の5年間が終わり、気が付けば専攻科の2年間が終わり、7年間の高専生活が終わろうとしています。私は数学が好きで、もっと数学について学びたいという理由から高専に入学しました。中学の時は成績がそこまで良くなかったため、試験で自分だけ赤点を取ってしまうことを恐れ、最初の試験は特にテスト前勉強を行っていたことを思い出し、時の流れは早いものだと改めて感じました。

本科での5年間を振り返ってみると、私たちの世代は、コロナの影響で3年と4年の前期まではTeamsを用いたりリモートでの授業でした。リモートでの授業を経験した私たちだからこそ、リモート授業の大変さを身にしみて感じました。4年の後期になり対面授業が再開し、久しぶりにクラスの人と会った時のことは忘れられません。専攻科の2年間を振り返ってみると、大変だったという印象が個人的には強いです。特に専攻科1年は履修する科目が多いにもかかわらず、各科目で課題が出され、さらには研究や進路についてなど多くのことを同時に行わなくてはならなかったため、正直よく乗り切ったなと思います。自分も含め専攻科2年の皆さん、お疲れさまでした！

保護者より

「未来を拓く二刀流」

環境工学専攻 2年
竹内大貴さんの保護者

竹内 一毅

専攻科修了生の皆さん、修了おめでとうございます。

これまで熱心な指導と高専での生活を支えてくださった教職員の皆様に、心より感謝申し上げます。7年間の高専生活は、親の立場から見るとまさに「光陰矢の如し」と言えますが、成長した息子の姿を見るとこの7年間の重みを深く感じています。

投打の二刀流としてメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手。懐疑的な見方をされた中で、投手としても打者としてもトップを目指し成果を残し続けるその姿勢は、異なる領域に全力を注ぎ可能性を広げる象徴的な生き方だと思います。皆さんは専攻科で専門分野の学びを深めてきたかと思います。これからの進路先でも学びを進める人も多いかと思いますが、違った視点も持ち新たな挑戦に対してもオープンであってほしいと思います。「学び」と「挑戦」という二刀流を武器に今の自分の枠を越えていくその先には、きっと今まで見たことのない素晴らしい景色が広がっていると思います。

技術が進化し世界が急速に変わりつつある今、専攻科で高度な知識と技術を身につけた皆さんの力は社会を変える大きな鍵になります。自分の可能性を広げ、未来を切り拓いて大きく羽ばたいてください。皆さんの挑戦を、心から応援しています。

修了生進路一覧

※()内は人数

進 学

東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻
東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻
東北大学大学院工学研究科機械機能創成専攻
東北大学大学院情報科学研究科応用情報科学専攻
東北大学大学院生命科学研究科分子化学生物学専攻植物分子適応生理分野
東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻
筑波大学大学院理工学情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム
筑波大学大学院理工学情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム
筑波大学大学院理工学情報生命学術院システム情報工学研究群構造エネルギー工学学位プログラム
筑波大学大学院理工学情報生命学術院生命地球科学研究群環境科学学位プログラム
群馬大学大学院理工学府理工学専攻土木環境プログラム
東京科学大学大学院(旧東工大)工学院機械系
東京科学大学大学院(旧東工大)工学院電気電子系
横浜国立大学大学院先進実践学環
長岡技術科学大学大学院工学研究科工学専攻物質生物工学分野
長岡技術科学大学大学院工学研究科工学専攻環境社会基盤工学分野
北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科先端科学技術専攻
金沢大学大学院自然科学研究科電子情報通信学専攻

就 職

第一三共バイオテック株式会社	東京電力リニューアブルパワー株式会社
三菱電機エンジニアリング株式会社	関東電化工業株式会社 (2)
太陽誘電株式会社	東亜工業株式会社
株式会社IHIエアロスペース	信越化学工業株式会社
三菱重工業株式会社	日東電工株式会社
株式会社富士通ゼネラル	三井金属鉱業株式会社
株式会社SUBARU	長野野町
株式会社エヌエフ回路設計ブロック	自営業



学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
明 石 七 祐	Sn-35BiおよびSn-37.5Bi合金に及ぼすZnとSbの影響	山 内
新 井 駿	温湿度測定用子機の電源に関する研究	檜 本
新 井 優 生	4ストロークエンジン機構の副燃焼室追加による性能変化	花 井
今 泉 俊 亮	非整数階微積分を用いたクレーンの振れ止め制御に関する研究	平 間
上 原 蓮 汰	ペイズルールを用いた残塩濃度制御の外乱予測に関する研究	平 間
長 壁 孝太郎	超小型衛星のバッシブ制御とアクティブ制御を融合した磁気トルカによる姿勢制御	平 社
小 内 貴 文	ダイカスト成形用離型剤の離型性に及ぼすUFB含有水の影響	黒瀬・高山
小 池 奏太郎	CFD解析を用いた小型垂直軸型風車における風レンズ効果の検証	矢 口
小 島 隼 人	ハーバート硬さ試験における切削加工表面粗さの影響	黒瀬・高山
小 林 草 太	インプロセス計測による輪郭測定に及ぼす対称面の影響調査	樋 口
小 林 拓 実	双ロールAI鋳造材の表面模様 に及ぼす元素成分および鋳造条件の影響	黒瀬・高山
小 林 由 依	バイオマス発電環境模擬灰塩における腐食挙動	山 内
小 林 怜 央	制振合金を用いた工具振動低減の研究	櫻 井
佐々木 智 也	小型垂直軸型風車のための風レンズの設置条件に関する実験的検討	矢 口
澤 口 昌 広	ミル加工における加工液供給法の違いによる効果	櫻 井
杉 山 輝	CFRTPプレス成形における成形高さに及ぼすガウス曲率の影響	黒瀬・高山
須 原 天 夢	最大感度 <i>Ms</i> の幾何学的関係を用いたPID ^o D補償器の派生法に関する研究	平 間
関 口 拓 都	レーザ光源の線幅測定に関する研究	樋 口
高 野 雄 生	ミル加工における制振合金を用いた工具振動低減の研究	櫻 井
高 橋 純 大	AC4B合金の表面酸化に及ぼす微量添加元素の影響	山 内
滝 谷 優 太	超小型衛星の永久磁石を使用した磁気トルカによる軌道上実証実験	平 社
田 嶋 淳 史	大型バイオマス発電用木質ペレットの含水状態によるATPへの影響	黒瀬・高山
田 村 直 照	Sn-40Bi-0.01Ni合金とSn-40Bi-0.1Cu合金のm値測定	山 内
富 田 悟 史	粉塵爆発における可燃限界測定	花 井
中 島 凱	位置制御と力制御を最適融合したバイラテラルシステムに関する研究	平 社
中 野 瑳 介	操業データからのラグールモデルによるモデリングに関する研究	平 間
廣 瀬 瑛 人	風レンズと歯車減速機を用いた小型垂直軸型風車による風力発電	矢 口
藤 田 裕 貴	アルミニウム重力鋳造の凝固組織に及ぼす金型表面性状の影響	黒瀬・高山
船 津 翔	長むだ時間系のためのPIDパラメータ調整に関する研究	平 間
町 田 日 葵	風洞実験による垂直軸型風車のための翼型の開発と性能試験	矢 口
松 尾 光 桜	ステンレス研削加工における廃液処理水のBOD削減	黒瀬・高山
松 本 孝 介	超小型衛星のプラズマスラスタによる軌道遷移に関する研究	平 社
水 口 陽 渡	機能拡張した温湿度測定用子機の開発	檜 本
目 崎 大 翔	衝撃荷重によるねじゆりみ過程の観察	檜 本
望 月 大 暉	イタリア製ガスバーナーを用いた窯の昇温性能向上と排ガス特性の改善	花 井
柳 澤 龍 哉	コーヒー豆焙煎時における1ハゼの原因究明	花 井
山 崎 朝 陽	逆ヤコビ行列を用いたマルチレートセンサシステムによる姿勢角検出	平 社
山 崎 奨	双ロールAI鋳造におけるロール周速を考慮した組織と応力分布	黒瀬・高山
吉 野 浩 基	筆記時のボールペン先端における流れ場の解明に向けたCFD解析	矢 口

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
磯 貝 明 輝	小規模FPGAを用いた画像処理システムの設計と開発	松 本
岩 瀬 陸 玖	シングルボードコンピュータによる画像処理システムの開発	松 本
太 田 樹	ダミーデータ生成アプリの開発	布施川
大 谷 空 遥	水晶振動子を用いた真空計の製作	市村(和)
岡 本 暖 之	半導体工学体験実習システムの開発	五十嵐
金 井 晶	コンクリートレーダ用ブリエンファシスフィルタの製作	富 澤
金 谷 諒 汰	モンテカル口法による吸着原子の表面拡散シミュレーション	塚 原
金 古 梨 玖	有機金属薄膜中の金属原子の磁気的性質	塚 原
木 村 伽 也	太陽光発電の出力予測手法に関する基礎検討	中 山
木 村 孝 太	コスタスループを用いた可視光通信のための同期回路の開発	佐々木
久 保 瑞 香	小規模マイコンを用いた集積回路テスト環境の構築	松 本
齋 藤 吏 玖	符号化信号を用いたコンクリートレーダの開発	富 澤
佐 山 円 蔵	確率微分方程式による金融リスクの評価	宇治野・高橋
柴 崎 咲 音	流体シミュレーションによる風力発電システムの検討	中 山
嶋 崎 黎	Rhaspberry Pi pico W を用いた高速データ転送機構の製作	五十嵐
石 晶	高電流領域での量子ホール効果の崩壊	平 井
関 口 凱 斗	近赤外線分光法を用いたコーヒー豆の分析 ～焙煎度と赤外スペクトルの相関解析を中心に～	石 川
高 橋 吏 槻	順番待ち管理アプリの開発	布施川
中 澤 寛 斗	音色に関する特徴量の考察	宇治野・高橋
西 尾 響	量子化ニューラルネットワークのFPGA実装と転移方法の検討	松 本
野 口 蒼一郎	変分原理とオイラー・ラグランジュ方程式	神 長
野 崎 豪	高電流領域での量子ホール効果の崩壊	平 井
原 啓 介	冷却装置を用いた太陽光発電の発電量に関する検討	中 山
原 澤 伶	コンクリートレーダにおけるレーダと処理装置間インターフェースの製作	富 澤
樋 口 新 大	面談予約管理アプリの開発	布施川
間 瀬 翔 太	有機薄膜および有機金属薄膜の電気伝導特性	塚 原
松 田 悠 刀	特殊相対論による運動の解析	宇治野・高橋
南 周 太	ネオントランスを用いたプラズマによる成膜実験	市村(和)
茂 木 遥 飛	RTKを用いたレーザ可視光通信のための光軸調整回路の開発	佐々木
山 田 旺 輝	自動車用イグニッションコイルを用いた放電楽器の音域改善	市村(和)
山 本 拓 也	変分原理とオイラー・ラグランジュ方程式	神 長
横 山 輝 星	太陽追尾装置における制御システムについての基礎研究	中 山
吉 田 琴 香	飲食店で使用するオーダーアプリの開発	布施川
渡 邊 俊 斗	24時間駆動の実現に向けたテスラコイルの改善	市村(和)
アラタンバートル エンフスド	Fabrication of STM probes by electrochemical etching	塚 原

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
新 井 莞 太	群馬県におけるからっ風への山岳地形の影響に関する検討	雑 賀
池 田 優 哉	単眼カメラを用いた3次元姿勢推定によるリアルタイムモーションキャプチャの実装	西 山
石 井 順 成	VNAを用いた DC/DC コンバータの出力インピーダンス評価	築 地
井 上 大 勢	マルコフ連鎖を用いた文章生成による対話システム	菊 地
巖 明斗夢	ハンドトラッキングを用いた認知訓練アプリケーションの開発	渡邊(俊)
岩 脇 啓 太	強化学習を用いた 2D アクションゲーム敵 CPU の生成－戦術面の強化を目指して－	荒 川
内 山 友 洋	音楽ゲーム上達支援のための RPG 型トレーニングシステムの提案	荒 川
奥 田 駿 介	視線検出によるコミュニケーション補助システムの検討	渡邊(俊)
木 下 橘 平	電流モード制御 DC-DC コンバータにおける電流帰還モデルパラメータの抽出	築 地
串 淵 陽 斗	音素レベルの発話タイミングにおける個人性の検証	川 本
栗 原 健 心	Topswops アルゴリズムにおける昇順ソート条件の探索	菊 地
黒 岩 駿 越	ハフマン符号化における短縮可能性について	菊 地
小 暮 勇 輝	盲ろう者を対象とした歩行支援のための報知音解釈・誘導システムの提案	大 墳
越 悠 稀	Z 行列表現を用いたワイヤレス電力伝送理論に関する考察	築 地
小 鮒 侑 真	視線検出によるコミュニケーション補助システムの検討	渡邊(俊)
斉 藤 寛 太	自律搬送ロボットのためのウェブカメラを用いた深度センサの開発と評価	市村(智)
坂 下 青 哉	複数の連結車両を牽引する移動ロボットにおける衝突回避手法	市村(智)
櫻 井 裕 大	FSK 変調による Nintendo Switch と PC 間のデータ共有	大 墳
鈴 木 遼太郎	大腸検査ロボットの開発 ― 機構と制御回路の改良 ―	市村(智)
瀬 尾 虎 那	前橋市の空っ風吹走期間における相対湿度の振る舞いに関する検討	雑 賀
高 橋 昂 汰	大規模言語モデルを用いた読書支援ツールの検討	荒 川
谷 口 滉 紀	OpenCV を用いた視対象の分類	渡邊(俊)
中曽根 瑠 香	2次元画像から3D プリンタデータを作成するアルゴリズムの検討	大豆生田
野 村 壮 哉	機械学習を用いた気象データによる日本各地の水稲収穫量予測モデルの構築	西 山
日 浦 悠 希	量子化した大規模言語モデルと検索拡張生成技術を併用した対話システム	川 本
平 川 大 樹	アニメーション等の映像制作における複合的表現支援システムの開発	大豆生田
深 代 凪	株売買シミュレートプログラムにおける最適な移動平均線の模索	西 山
藤 田 響 介	食品開発に用いる官能評価の定量化の検討	大豆生田
三 浦 寿 真	inyML を用いる移動ロボットの制御	市村(智)
水 上 寛 大	MANET における AODV を用いたバッテリー容量考慮型ルーティング手法の提案	菊 地
三 井 知 世	ルービックキューブ6面完成のための難易度評価関数の検討	荒 川
三 原 稜 真	モンテカルロ法を利用したゲームの報酬を効率よく入手する方法の検討	菊 地
武 藤 瑞 生	統計力学的手法によるデジタル画像のノイズ除去	宇治野・高橋
本 島 琉 矢	屋外向け低消費電力 IoT 用途環境発電モジュールの評価	築 地
森 川 遥 菜	足の裏を使用する体表点字システムの検討	大 墳
矢 島 鈴 華	個人化した手書き文字ストローク生成における筆記者負担軽減法の検討	川 本
山 口 剛 史	AR を用いた試着アプリにおける自然な衣服投影技法の開発	大豆生田
横 坂 光 栄	前橋市の空っ風吹走期間における相対湿度の振る舞いに関する検討	雑 賀
横 山 侑 汰	量子力学を用いた鍵配送技術について	宇治野・高橋
吉 田 光 来	普遍写像性とラムダ算法からなる型の圏	北 田
吉 原 紋 人	世界銀行データより考える日本と世界の未来	西 山

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
赤 塚 舞 衣		羽 切
赤 羽 泰 地		和 田
荒 木 堅 伍		安 西
飯 田 誠		齋 藤
池 田 千 柊		工 藤
石 川 涼 人		深 澤
猪 野 太 良		羽 切
岩 倉 阿 南		ルカノフ
内 海 咲 紀		出 口
太 田 有 哉		和 田
大 貫 伶 緒		深 澤
岡 本 悠 甫		齋 藤
小 澤 雄 太		友 坂
梶 間 天 途		ルカノフ
川 田 泰 生		大 岡
木 村 優 吾		大和田
久保田 快 翔		安 西
後 閑 杏 菜		出 口
坂 井 颯		羽 切
坂 地 悠 太	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産の観点から	中 島
佐 藤 良 香	非公開とさせていただきます。	大 岡
佐 俣 里 圭		大 岡
高 川 滝乃介		友 坂
高 橋 侑 愛		出 口
橘 一 斗		工 藤
丹 羽 晃 崇		ルカノフ
近 田 彩 那		羽 切
塚 越 大 輝		工 藤
辻 本 瑞 穂		中 島
土 屋 頼 生		大和田
野 口 真 歩		和 田
樋 口 泰 平		安 西
宮 嶋 歩		ルカノフ
宮 原 慶		深 澤
森 本 莉 紗		齋 藤
守 谷 ころこ		大 岡
森 脇 憩		友 坂
安 田 涉 吾		大和田
吉 田 龍 彦		辻
渡 邊 陽 貴		石 川
シハラス ノイラワン		友 坂

学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
青 木	佳 南	ケイ酸添加基質による活性汚泥中の微生物への影響	宮 里
荒 井	日菜子	自動車・自転車・徒歩を考慮した避難行動評価モデルの構築に関する研究～東日本大震災時の石巻市渡波地区を対象として～	永 野
安 部	良 太	土質試験結果における不確かさの要因分析	森 田
石 井	洋 介	バサルト bio-nest による水処理機能の評価	堀 尾
石 関	素 快	2024 年能登半島地震における強震動の主軸方向と斜面崩壊の関係に関する検討	井 上
乾	祥太郎	紫外線照射による藻類増殖抑制の検証	堀 尾
上 坂	一 貴	渡良瀬川と碓氷川における MPs および珪藻を用いた河川環境調査	宮 里
上 野	凌太郎	動画配信サービスを活用した安価な水路監視システムの検討	井 上
笠 原	鈴 平	群馬県内の利根川とその支流におけるマイクロプラスチックおよび水質による河川環境調査	宮 里
金 子	拓 生	アクアリウムにおける新たな藻類増殖抑制装置の開発	谷 村
金 子	美乃莉	巨大地震を想定した地震応答解析	森 田
菊 池	静 琉	細粒分含有率の違いが地盤の流動特性に及ぼす影響	森 田
小手川	温 陽	1G 場振動台実験に基づく水平2方向地震動作用による砂地盤の液化化評価	井 上
後 藤	順 太	三次元表現を用いた河川状況可視化システムのプロトタイプ開発と実用性の検討	井 上
小 林	光 希	4分割ペーパーブリッジの構造最適化による軽量化	木 村
小 林	志 門	4分割ペーパーブリッジの構造最適化による軽量化	木 村
小 林	美 遥	ブチルゴムの周辺環境の違いによる耐久性能の評価	田 中
佐 藤	匠 人	コンクリート・モルタルおよびペースト供試体の寸法効果による強度への影響	田 中
佐 藤	遥	通電した水を用いたアクアリウムにおける水質維持効果の検証	谷 村
島 崎	飛 里	溶岩流実験における代替試料の提案と供給流量の計測手法に関する研究	永 野
島 田	樹	中之条町六合赤岩における歴史的町並みの保存についての研究	永 野
曾 根	由 雅	ディープラーニングを用いたき裂の画像認識	木 村
高 橋	唯 斗	西湖における水辺生物の生息場評価の基盤構築に向けた基礎調査	永 野
田 口	達 人	巨大地震を想定した地震応答解析	森 田
田 島	紗 優	細粒分含有率の違いが地盤の流動特性に及ぼす影響	森 田
田 中	淳 也	下水処理水の水田利用の現状と農業利用への検討	宮 里
田 村	泰 祐	橋梁のヘルスマニタリングにおける IoT センサの導入フローの調査と策定案の検討	井 上
戸 塚	嶺 登	アクアリウムにおける新たな藻類増殖抑制装置の開発	谷 村
奈 良	怜 佳	ブチルゴムの周辺環境の違いによる耐久性能の評価	田 中
長谷川	雄 政	外付け電極装置によるアクアリウムの水質制御について	谷 村
福 島	梨 生	化学的酸素生成剤の排水処理分野での利用用途の検討	堀 尾
宮 田	一 穂	手回し式浚渫装置の考案に向けた螺旋型ポンプの浚渫効率に関する研究	永 野
森 下	清	外付け電極装置によるアクアリウムの水質制御について	谷 村
湯 本	瑛 士	コンクリート・モルタルおよびペースト供試体の寸法効果による強度への影響	田 中
横 山	愛	もみ殻と米菓工場の活性汚泥を用いた連作障害抑止型の土壌改良資材の試作	宮 里

学 生 氏 名			課 題 名	サブタイトル	正担当	副担当
生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	赤 石	大 輔	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	永久磁石による磁気トルカを用いた超小型衛星の極軌道における姿勢制御評価に関する研究	平 社	黒 瀬
	市 川	友 己	可燃性粒子の火災安定化に関する燃焼技術	粉体粒径の燃焼特性に及ぼす影響について	花 井	山 内
	伊 藤	陽 樹	デジタル・アナログ混載回路に関する研究	FPGAを用いたダイレクトサンプリング方式FM帯SDRの開発	市村(智)	築 地
	今 泉	拓 巳	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	可視光通信のための逡倍法を用いた同期検波回路のFPGA実装	佐々木	松 本
	大 畑	リヒト	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	慣性計測ユニットとヤコビ行列を利用した姿勢制御システムに関する研究	平 社	花 井
	掛 川	竜 希	固体物理学研究用核磁気共鳴装置の現代化に向けた集積素子活用検討	局部発振器と周波数乗算器による受信ブロックの現代化	五十嵐	佐々木
	金 谷	拓 海	量子計算・量子暗号に関する研究	BB84の高効率化およびその無条件安全性	宇治野	高 橋
	鹿 沼	一 粋	量子計算・量子暗号に関する研究	量子回路の簡略化によるエラー発生低減の可能性に関する検討	宇治野	高 橋
	草 原	士	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	FPGAのリアルタイム書き換え機能を用いたシステムに関する研究	松 本	佐々木
	剣 持	和 歩	自律型移動ロボットの最速誘導方式に関する研究	ステープルプラットフォームとストラップダウンを融合させた空間安定装置に関する実験的研究	平 社	平 間
	城	敦 士	金属の高温酸化・高温腐食に関する研究	Al合金の色調変化に及ぼす付着物や表面性状の影響	山 内	高 山
	高 橋	空 大	ヒトが扱うメディア情報の認識・統合・合成に関する研究	映像認識技術を利用したシステム駆動音声対話技術に関する研究	川 本	大 墳
	高 橋	南 就	デジタル・アナログ混載回路に関する研究	降圧形 DC-DC コンバータにおけるディジタル位相補償器に関する研究	市村(智)	築 地
	永 井	孝 太	理論と実用を鑑みた制御理論の産業応用に関する研究	配水管網における残塩濃度の平準化を目的とした管理システムの構築に関する研究	平 間	平 社
	永 井	翔 也	マルチスケール熱流動科学	非平衡分子動力学法シミュレーションによる凝縮係数の研究	矢 口	櫻 井
	羽 鳥	真 旺	グラフ理論を中心とした離散構造に関する研究	複数種類の印刷機で複数種類の印刷を行うスケジュールの最適化	菊 地	荒 川
	松 井	翼	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	広角カメラと磁気センサをセンサフュージョンさせた超小型衛星における姿勢角検出システム	平 社	平 間
	松 田	将	デジタル・アナログ混載回路に関する研究	D級アンプの伝達関数モデルと位相補償器に関する研究	市村(智)	築 地
	松 永	幸 都	多自由度を有するリンク機構の制御に関する研究	リーダーフォロワーシステムにおける位置制御系と力制御系を最適融合したバイラテラル制御	平 社	樋 口
	山 崎	岳	産業応用に向けた高速液滴の実験と理論	気液二相旋回流をとまなうセミドライ傾斜加工の実験的評価	矢 口	櫻 井
	山 田	倫 香	先進材料の機械加工における力学特性に関する研究	3D積層空冷金型を用いたハット曲げ成形品のスプリングバックに及ぼす成形温度の影響	黒 瀬	高 山
環 境 工 学 専 攻	石 上	隆 斗	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	高分子被覆した金属有機構造体の耐水性評価	齋 藤	深 澤
	小保方	直 輝	環境中の物質動態による生活環境や生態系への影響と改善策の模索	河川環境における複合的評価指標を用いた現況把握と改善策の提案	宮 里	永 野
	川 田	帆乃花	排水処理施設の処理機能改善のための技術的検討	バサルト担持体を用いた生活排水処理施設の適用評価	堀 尾	宮 里
	小 島	隆太郎	地形・地質条件の違いを考慮した土石流による流路変動評価手法の開発	1次元流動モデルによる河床の侵食・堆積速度係数の感度分析	森 田	永 野
	齋 藤	瞭	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	金属有機構造体上に固定化した貴金属ナノ粒子触媒の触媒特性	齋 藤	深 澤
	酒 井	響	社会基盤を脅かす問題に向けた微生物利用による解決法と関連微生物の解析	活性汚泥中における有用微生物の利用技術および制御・活用方法の開発	宮 里	堀 尾
	佐々木	真 道	分子分光学を用いた化学反応機構の研究	長光路吸収分光法を用いた大気微量成分に関する研究	辻	齋 藤
	清 水	弥 央	植物組織培養技術を用いた形態形成に関する研究	ハナミズキにおけるABCモデルに関する遺伝子の解析	大 岡	大和田
	高 橋	佳 那	有機化合物の光物性に関する研究	トランスメソ位にアミノフェニル基をもつtpgタイプポルフィリン亜鉛錯体の吸収スペクトルにおける濃度効果と会合挙動の検討	中 島	羽 切
	竹 内	大 貴	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	可食葉に含まれる抗変異原物質の探索	大 岡	友 坂
	都 丸	望	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	植物病原菌が生産する植物毒素の単離	大 岡	友 坂
	富 岡	大 翔	自然および生活環境を脅かす問題の発生要因の解明と解決法の検討	持続可能な農畜産業に向けた問題解決とバイオマスの新規有効利用法の検討	宮 里	堀 尾
	船 津	ゆ り	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	グルコマンナンゲルを原料とした炭素材の作製および半金属との複合化	羽 切	出 口
	星 名	勇 作	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	電極上に固定化した金属触媒の耐化学性・耐久性評価	齋 藤	和 田
	森 田	蒼 典	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	水の電気分解用アノード電極触媒の開発	齋 藤	深 澤
	吉 田	智 咲	構造物の動的性能評価に関する研究	地震応答解析に基づく橋梁の地震損傷検知手法に関する検討	井 上	森 田
	渡 辺	結 加	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	色彩情報に基づく微量有害物質の簡易定量法	羽 切	大 岡



教職員からはなむけの言葉



“The only thing we know about the future is that it is going to be different.”という言葉が実感されるいま、名門・群馬高専を卒業するみなさんが、変わりゆく世界で、真の幸福をもたらす科学技術の開発と普及に貢献されますよう心よりお祈り申し上げます。

(一般教科 (人文科学) 教授 横山 孝一)

卒業生、修了生の皆さん、おめでとうございます。長い高専での生活を終え、感慨深く学校だよりを読んでいることと思います。これから自信をもって新たなステージへ進んでいかれることを祈念いたします。

(機械工学科 教授 黒瀬 雅詞)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。高専での学びのなかで、日々大きく変化する社会に適応してだけの素養は身につけることができたのではないかと、思っています。これからのさらなるご活躍を楽しみにしています。

(電子情報工学科 教授 雑賀 洋平)

新たな道を切り開け！
卒業おめでとうございます。高専5年間では多くの勉強をし、多くの経験をしたと思います。でも人生はこれからです。自分の人生、自ら行動し切り開いて行ってほしいです。人とのつながりを大切に、有意義な人生を歩んでください。

(環境都市工学科 教授 堀尾 明宏)

ご卒業おめでとうございます。皆さんとの出会いはコロナという未知の脅威から始まり、マスクを外した顔が見られるのは写真撮影のときだけという過酷な状況でした。無事のご卒業、大変感慨深いものがあります。卒業してもたまには顔を見せに来てください！

(一般教科 (人文科学) 准教授 太田 たまき)

学業・仕事の苦労やそれを乗り越える努力は、きっと将来の成功につながります。工学的課題や人間関係など、そのほとんどは予測できなくて、問題や壁にもぶちあたるでしょう。それも人生です。人生万事塞翁が馬、逆境の中にも希望の光はあります。将来に幸あらんことを。

(機械工学科 教授 山内 啓)

卒業おめでとうございます！新しい道へ進む勇気を持ち、夢を追い続けてください。未来はあなたたちの手の中にあります。それぞれの進路で、群馬高専で学んだことが皆さんの人生の糧となることを祈ります。

(電子情報工学科 教授 荒川 達也)

卒業おめでとうございます。夢を語れる人は魅力的な人が多いです。いつまでも夢を熱く語れる大人になってください。

(環境都市工学科 教授 木村 清和)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。卒業生の方へ—新型コロナウイルスの影響を入学時から受けたにもかかわらず、5年間学業をやり遂げ、卒業を迎えたことを誇りにし、今後も活躍してください。修了生の方へ—5年次から継続して関心のある分野の学びを深めた経験をこれから活かしてください。

(一般教科 (人文科学) 准教授 板谷 洋一郎)

皆さんの入学時と今では、世の中は大きく変化していますよね。この先も変化の波は続くでしょう。その波に取り残されないよう、成長し続ける努力を忘れず、新しい時代を切り拓いてください。卒業・修了おめでとうございます！

(機械工学科 講師 高山 雄介)

ご卒業・修了おめでとうございます。変化の激しい難しい時代ではありますが、群馬高専で学び・経験したことを糧に、大きく飛躍してくれることを願っています。高い目標を持って、頑張ってください。

(電子情報工学科 准教授 西山 勝彦)

ご卒業・修了おめでとうございます。仕事でも学業でも、他者に語れることを成し遂げてください。お酒を飲みながら自慢話を聞けること、楽しみにしています！(後輩とか部下にはやっちゃダメですよ！)

(環境都市工学科 助教 渡邊 祥庸)

Never hesitate to take on challenges or learn something new—both will help you grow. Congrats on your graduation!

(一般教科 (自然科学) 教授 宇治野 秀晃)

卒業おめでとうございます。群馬高専でのいろいろな経験の価値を信じ、人生の新たな段階において気後れせずに挑戦してください。また、卒業後も経験を積み重ね、さらに成長し、大いに手腕を振るうことをお祈りしています。

(電子メディア工学科 教授 平井 宏)

卒業生、修了生のみなさん、おめでとうございます。この晴れの日を迎えた気持ちを忘れることなく、大きく羽ばたく自分を信じ、未来を切り開いてください。ご活躍を楽しみにしています。

(物質工学科 教授 友坂 秀之)

ご卒業おめでとうございます。苦しい時もあると思いますが健康第一です。考えると悩みます。良い食事と睡眠を取りましょう。

(教育研究支援センター 技術専門員 小城 淳一)

未来は明るい！ 君たちが創って行くから

(一般教科 (自然科学) 教授 碓氷 久)

コロナ禍の中、遠隔授業から始まった高専生活で大変だったかと思います。これからの人生も、どんな困難をも乗り越えて、自分の道を進んでください。卒業おめでとうございます。

(電子メディア工学科 准教授 中山 和夫)

かつて詩人は手の届かないような純粹さを、憧憬をもって、俯瞰され切り取られたひとつの絵の中に少女を表現した。少女たちは首蓓の花を摘んでは巧みな手捌きで花環をつくる。それを縄にして縄跳びをする。甘やかな蜜の香り、そして耳には行行子、頬には光。宇宙はいつのまにかどンドン膨らんでほんの少しばかり広がった。いま、新しく世界を識ろうとしている貴兄たちの瞳には、どのような景色が映っているだろうか。

(物質工学科 准教授 中島 敏)

ご卒業おめでとうございます。皆様の益々のご活躍をお祈り致します。健康に気を付けて、これからも夢に向かって大きく羽ばたいてください。ずっと応援しています！

(教育研究支援センター 技術専門職員 大野 佳代子)

入学当初のあなたは、今の姿とはまるで別人のように感じることでしょ。これからの人生でも、変化し続ける環境の中で柔軟に適応し、また新たな自分を発見していくことでしょ。ふと本校に足を運んだ時、これまでの自分の成長に気づく瞬間がきっと訪れるはずですよ。

(一般教科 (自然科学) 准教授 渡邊 悠貴)

卒業おめでとうございます！皆さん自身も、周囲の世界も、この5年間で大きく進化・変化したことと思います。ぜひ継続的な学習と実践を大切に、未来に向かって思い切り羽ばたいてください。

(電子メディア工学科 准教授 市村 和也)

卒業生・修了生およびご家族の皆様、誠におめでとうございます。本校を巣立ち、この4月から新天地となるかと思いますが、皆さんの先輩達はイキイキとご活躍されています。stay hungry stay foolishを忘れずに人生楽しみましょう！

(物質工学科 准教授 齋藤 雅和)

「弱い人は復讐し、強い人は許し、賢い人は無視します。」
アルバート・アインシュタイン
卒業・修了おめでとうございます。社会に出て、理不尽な目に遭って、思わず非生産的な気持ちになった時、ちょっと思い出してください。私もせめて強い人になりたいのですが。

(教育研究支援センター 技術職員 浅見 博)

退任挨拶

長らくお世話になりました

一般教科(人文科学) 嘱託教授 **大島 由紀夫**

1991年4月1日に本校教員として採用すると、辞令を受け、数日後の入学式には1年生の正担任として臨み、式後の学級別懇談会では、新入生と保護者に不安を与えたくないとの思いから、あたかも何年も在職しているかのように振る舞いました。それ以来、今日に至るまで、常に何かに追われるように綱渡りを続けてきたように思います。着任当初、懇切にお導きくださった岡上登喜男・水出正一両先生は、既に幽明境を異にされ、月日の流れを感じざるを得ません。メルボルンや上海に学生を引率して出かけたこと、研究活動でダブリン・リュブリャナ・オックスフォードを訪れたことも懐かしく思い返されます。これまで勤め続けることができたのは、同僚教職員・学生・保護者のみなさまのおかげであると、切に感じます。長らくお世話になりました。心よりお礼を申し上げます。



群馬高専への思いと感謝

物質工学科 嘱託教授 **大和田 恭子**

平成18年から再雇用を含め19年間、多くの教職員の皆様方の励ましとご支援を頂き、無事務めてこられましたことに心より感謝申し上げます。言葉には言い尽くせないほどの至らなさを許していただいて今の自分があると感じております。私にとっての群馬高専の魅力は、何といっても個性的で才能溢れる学生と授業やHR、行事等を通して触れ合うことができたことです。特に、日々取り組んだ卒業研究・特別研究の楽しさと充実度は格別でした。群馬のために、地域の問題解決に役立つ研究をしたいという強い気持ちがある学生から力と刺激をもらい続け、あつという間の19年間でした。学生のために果たして何ができていたのだろうか、と振り返ると反省することしきりですが、とにかく駆け抜けてきてしまいました。最後になりましたが、群馬高専のご発展とともに、ジェンダーを越えて地域社会・日本、そして世界の未来に貢献できる創造的技術者が羽ばたいていくことを願っています。



印象に残っている学校行事

一般教科(人文科学) 准教授 **板谷 洋一郎**

この度、本学を離れることになりましたので、ご挨拶させていただきます。着任してから約5年半の間、教職員の方々には授業から校務に至るまで、何かとご指導・ご助言していただきました。心よりお礼申し上げます。学生と関わる機会がたくさんあった中、特に印象に残っているのは、英語弁論大会と短期語学研修です。弁論については、参加する学生が、原稿をメモでいっぱいにして、ひたすら練習を重ね、本番で堂々と英語スピーチをする姿に感銘を受けました。引率教員として参加した語学研修では、ホームステイや語学学校での学習を通して、学生が少しずつ英語コミュニケーションに慣れ、異文化交流を楽しむ姿を見ることができました。これは英語教員にとって喜ばしい出来事でした。今後も教育と研究に励みたいと思います。群馬高専の益々のご発展をお祈り申し上げます。



二年間ありがとうございました

一般教科(自然科学) 助教 **大森 祥輔**

この度、三月末で群馬工業高等専門学校を退職することになりました。二年間という短い期間でしたが、教職員の皆様をはじめ、学生の皆様、保護者の皆様、その他関係者の皆様には大変お世話になりました。特に、群馬県及び高等専門学校共に初めてだったこともあり、教職員の皆様には多くのご不便やご迷惑をおかけしたかと存じますが、その都度色々のご教示を賜りまして誠にありがとうございました。また、学生諸君とは学問などを通して、幅広い視野を持って多面的に物事を捉えることの大切さ、多様な価値観を持つことの大切さを勉強することができました。誠に感謝申し上げます。四月からは東京の大学に移動します。この群馬の地で学んだ多くの感情や経験を活かし、研究・学問に対し情熱を燃やしながら新天地でも日々精進するつもりでございます。二年間ありがとうございました。



「チャレンジ」します！

環境都市工学科 教授 **木村 清和**

あと定年まで少しあるかなと考えていたのですが、このたび群馬高専を退職することになりました。きっかけは令和5年度から「アントレプレナーシップ教育」でみなさんのコンテストや起業へのチャレンジする姿勢を見て、私も残された教員生活の中で、「チャレンジ」したいと思うようになりました。その時に故郷の滋賀県が県立高専を開校することを知り、「新しい高専作り」にチャレンジすることを決意しました。31年間の本校における教員生活で幾度となく高専生の実力(パワー)を垣間見ました。その中で特に印象的だったのがC科4～6期生が取り組んだ土木学会関東支部主催の「コンクリートカヌー大会」への出場です。大会でまだだれも成しえていない膝立ちで漕ぐカナディアンスタイルのカヌーを作り、琵琶湖での全国大会にチャレンジしました。4ヶ月間、毎日桃ノ木川で必死にカナディアンスタイルで漕ぐ練習し大会に出場した学生の熱意には涙が出るほど感動しました。次に印象に残っているのはC科17期生のデザコンです。4年生で部活として最後の大会で結果がだせず、悔し涙を流す学生に卒研でペーパーブリッジをテーマにして再チャレンジを提案しました。その学生は本当に橋が大好きで、何度も試作検討を繰り返して満足のいく橋を作り上げました。5年時の再チャレンジでは涙はなく微笑んでいました。ついついチャレンジは結果に注目しますが、私の印象に残っているのは結果ではなく、チャレンジした学生の熱意とその学生たちの成長です。本当にチャレンジは人を成長させます。どんな高専ができるかわかりませんが、「より多くの学生がチャレンジする高専」を目指したいと考えます。また、何かのコンテストで群馬高専の皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。長きにわたり大変お世話になりました教職員、保護者の皆様、そして群嶺テクノ懇話会の皆様、卒業生の皆様に深く感謝申し上げます。



成長させていただきありがとうございました。

電子情報工学科 教授 **菊地 洋右**

親の介護で津山高専から群馬高専に来て、3年が経ちました。3年間、お世話になりました。とても感謝しています。4月から津山高専に戻ります。群馬高専では優秀な学生と素晴らしい教職員の方がいらして、自分のスキルアップになったなあと感じています。教育研究関係では、国際会議に論文を出せました。2月にシュプリングからプロシーディングが出ます。他にも知的財産管理技能検定2級や高等学校(情報)教員資格を取得できました。自分なりに多少は成長できた3年間だったと思います。このようにスキルアップできたのは皆様のおかげです。他の群馬高専での経験も津山高専で活かさればと考えています。50代でも学び続ければ成長はできる。学び続けることは大切だよということを学生に言い残して去りたいと思います。3年間ありがとうございました。



学びの多かった5+7=12年間

環境都市工学科 准教授 **井上 和真**

群馬高専の学生5年間、教員7年間の合計12年間、皆様にはお世話になりました。この度、一身上の都合により、退職することとなりました。在職中は、皆様から温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝しております。学生時代は、のびのびとした雰囲気の中、優秀な(かつ個性的な?)先生方から、学業面のみならず多くのことを学ばせていただきました。教員として着任してからは、私も同様に学生に対して良い教育・良い指導を・・・と思いながら従事していましたが、教職員や学生から学ぶことの方が多かったと感じております・・・群馬高専で過ごした時間はかけがえのない宝物です。これからも群馬高専で学び得たことを生かし、新たな道で尽力してまいります。最後になりますが、群馬高専の更なる発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



退職の挨拶 ～長い…やっぱり、長かった～

教育研究支援センター 技術職員 **荻野 和夫**

初出勤はまだ車の免許もなく、自転車だった。関越道も前橋ICは工事の真っ最中…工業化学科に採用され、研究装置の開発で機械工場の先輩に工作機械の使い方を伝授いただき物作りの楽しさを覚えた。廃液処理を担当した時は、他高専の同職者と切磋琢磨しながら、変化する環境問題を学んだ。独法化に伴い資格取得のため勉強をしたのも覚えている。環境都市工学科の実験支援では化学実験で得た知識を生かすことができ、機械工学科の支援では、知的財産権の資格を取り、授業に深く関わった。結局、社会に出て勉強は必要なのだという事を痛感した。しかし、勉強ばかりをしていた訳ではなく、学校行事であったスキー教室の指導がきっかけでスキーに没頭し資格を取得。現在も楽しんでいる。昭和・平成・令和と長きにわたり本校に関わることができたのも、沢山の皆様のおかげだと、心より感謝している。親子二代も何組かいるので…やっぱり47年は長かった。



任期満了

教育研究支援センター 技術専門職員 **加藤 正明**

3月をもって定年(賞味期限?)となります。昭和59年に電気工学科技術職員として採用されて以来、様々な出来事を皆様と共に乗り越え、41年間勤務する事ができました。思い起こせば……学生実験、卒業研究、電気工事士実習、支援センター化後には、一般科学、物質工科学学生実験、機械工作実習、工学実験etc。長くもあり短くもある41年でした。卒業研究では、何度も学生と徹夜したりで研究の大変さや楽しさを知りました。学会発表では、国内のみならず国外の学会にも行く事ができました。人生の節目を迎え、何か新しい事にチャレンジしてみようかと思っています。これまでの人生の大半を過ごした群馬高専での経験を今後に生かせるならば幸いです。今後何う機会があった時には、皆様よろしくお願い致します。



学生会新役員紹介

皆さんと共に歩む学生会

2年3組 (C) 小林 孝太郎

来年度、学生会会長を務めます環境都市工学科の小林孝太郎です。今年度に引き続き、2年連続で環境都市工学科の学生が会長となります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

新しい副会長には、1年環境都市工学科の福島杏、1年電子情報工学科の金井拓哉が務めます。学生会執行部は、私たち会長、副会長が所属する総務局のほか、会計局、書記局、渉外局、庶務局があり、それぞれの局が新しい局長を中心に引き続き運営してまいります。学生会運営や行事を進行し、盛り上げるためには、執行部だけでなく、学生の皆さんの協力が不可欠です。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆さんの学校生活をより良く、豊かなものにするため、これからも学生会執行部一同、全力で取り組んでまいります。

学生会執行部では、皆さまの声をしっかりと聞き、共に歩んでいきたいと考えています。学生の皆さんの委員会や学生総会などへの積極的な参加も併せてご協力をよろしくお願いいたします。



願ひいたします。

今年は工華祭もあり、行事に盛り上がる1年となることでしょう。工華祭実行委員会はすでに発足しており、準備が少しずつ進んでいます。今後、クラスの皆さんから協力者を募ることがあるかと思ひます。工華祭運営への積極的なご協力もよろしくお願いいたします。

最後になりますが、これまで学生会を支えてくださった先輩方や教職員の皆さま、そして学生の皆さんに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。新年度も皆さんの期待に応えられるよう、学生会執行部一丸となり全力で取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

吹奏楽部 定期演奏会

「音楽を楽しめました!」

2年5組 (M) 黒岩 風良

こんにちは、吹奏楽部部長の黒岩風良です!

この度、私たちは第62回定期演奏会を開催いたしました。ご来場くださった方々に、本当に感謝しています。今年の吹奏楽部は、「一味も二味も違うパフォーマンス」を目指して活動してきました。より綺麗で、かつエンターテイン的な心を忘れないような演奏ができた定期演奏会だったかと思ひます。

今年は、工華祭こそなかったもののたくさんのイベントで音楽を楽しめる1年でした。メンバーの人数も増えてよりチャレンジできる音楽の幅も広がり、演奏に熱心になることができました。7月の野球応援、9月の文化発表会、どちらともたくさん練習して最高の演奏ができました。

定期演奏会では、私たちらしい空気感で演奏を披露できました。特に、本番前のリラックスした部員たちの姿が印象的でした。そんなステージを何とか作ることができて、私自身とても嬉しかったです。というのも、今年1年部長をして



分かったことがありまして、私がとてつもなく仕事ができないということです。学生課の方々や顧問の矢口先生には、大変ご迷惑をおかけしました。責任のある立場というものを経験できてとても勉強になりました。来年度は、音楽担当で部活に貢献したいと思ひます。

来年度の定期演奏会には新しい部長に変わりますが、さらにアップグレードした「楽しい音楽」をお届けすることを保証しますので、ぜひ来て下さい!!!

全国高等専門学校デザインコンペティション【構造デザイン部門】

5年間のデザコン活動に終止符を…

5C 小林 光希

私はこの群馬高専に入学して、すぐに構造デザイン研究会に入部しました。毎年11月ごろに開催される、全国高等専門学校デザインコンペティション(以下、デザコン)への出場を目的として日々活動を行っているこの研究会に私は昨年まで在籍していました。昨年の参加を最後にもう参加することはないと思っていましたが、今年も卒業研究の一環として参加してきました。卒業研究として、橋の作成を行ってきたので当然ながら5年間で一番力を注いで大会に臨みました。載荷前の事前審査では高評価をいただきましたが、実際の載荷試験の結果は、20kgの載荷で破壊する結果となりました。昨年度より良い結果でしたが、とても喜べるような結果ではありませんでした。これにて私の5年間のデザコン活動は終了しました。今年で卒業になるので、今度こそ最後になってしまいましたが、悔いはありません。高専生活の思い出の中でも、とても印象に残った活動でした。活動に協力していただいたみなさん本当にありがとうございました。



紙で橋をつくる

3C 今井 和空

11月2日、3日の二日間、徳島県の阿南高専で開催された全国高等専門学校デザインコンペティションに参加してきました。今年の構造デザイン部門のルールは去年と変わらず、紙とボンドだけを使って2~4つに分割可能な橋を作り、強度、軽さ、デザイン性を競うというものでした。結果は10kgのおもりを載せた時点で倒れてしまうという残念なものになってしまいました。原因はおそらく橋の設置場所がずれていたことだと思います。本番は橋の組み立て、設置、載荷試験の準備を120秒以内に完了しないといけないという緊張感もあり、ミスをしてしまいました。悔しいだけの大会になってしまったわけではなく、どの高専の作品も特色があって見ただけでわくわくしましたし、他校の学生や教員の方と話す機会があり刺激をもらいました。CADで設計したり、橋のデザインを話し合ったり、加工にレーザーカッターを使ってみたりと他に代えがたい経験ができました。



高専DOCN2025

アイツもコイツも皆で集まれ!

4C 内海 璃久

こんにちは。DOCN2025合成音声研究会Dチームの代表、内海璃久です。

私達は“仮想の姿で現実世界を歩いているように見える装置”の開発を目指してDICONに参加しました。

さて、この文章を読んでいるあなたは日々の中で「あったらいいな」と思うものはありますか?もし1つでもあるようでしたらDICONへの参加を検討するとよいと思ひます。私はDICONについて自分のアイデアを具現化し多くの人にアピールする場であると認識しています。実際にアイデアを形にするためには困難が多く、途中で、あるいは動き出す前にやめてしまうことがあります。そういった時は、他者に話してみてもいいでしょうか? DICONに参加する意義はアイデアの共有にあります。自分と同じようにアイデアを持つ人、自分にはない技術力を持つ人、すでに自分のアイデアを具現化させた人などが一同に会するDOCNという場においてあなたのアイデアを真面目に聞かなかったり理由もなく感情的に否定したりする人は一人もいません!現に私はアイデアを共有して仲間が集まったことで今の私があるといえます。私達のように想像を創造に変えませんか?楽しみにしています。



TSKフェスwithゴム動力自動車コンテスト

勝って兜の緒を締めよ

4M 足立 啓真



我々エコノパワー愛好会は、10/27に高崎市もてなし広場にて開催されたTSKフェス2024withゴム動力自動車コンテストに参加しました。70mの直線コースのタイムを競う競技で、県内外の一部の高校や短大などが参加している本格的な大会です。前回大会では2位であったものの、加速時に前輪が浮くなどの欠陥が露呈したため、今回はマシンの前輪を小型のものに変更し、重心を前方に移すことで改善を図りました。今回大会から、使用する輪ゴムの統一や、学生チームと社会人チームとの部門分けが行われ、大会として洗練されたことで我々にとっても新たな挑戦となりました。

結果は学生チーム1位で記録が8秒12でした。また、社会人チームの最速記録と前回大会の優勝チームの記録も上回り、実質総合優勝といえる結果でした。しかし、社会人チームの最速記録とはかなりの接戦であったため、決して油断することなく、次回大会に向けて活動を継続していきます。

日本機械学会関東支部群馬ブロック研究・技術交流会2024

最高のクリスマスプレゼント

生産システム工学専攻1年 小此木 悠希

令和6年12月25日(水)に日本機械学会関東支部群馬ブロック主催の群馬ブロック研究・技術交流会2024がオンラインにて開催されました。私は「ダイカスト金型の冷却能力に及ぼすUFB含有水の影響」と題して発表を行いました。ダイカストとは、金属を溶かして高压で金型に流し込み凝固させることで製品を作る工法です。凝固させる際に用いる冷却水の冷却性能が向上すれば、環境負荷の低減などのメリットが得られます。学会での発表は初めてで緊張しましたが、学外の先生からご意見をいただくことができ、貴重な体験となりました。また、異なる分野の研究を行う大学院生・学部生の発表を聴くこともでき、刺激になりました。最後になりますが、研究を始めてから今まで丁寧なご指導をくださった黒瀬先生、高山先生に深く感謝申し上げます。



ニュース&トピックス

関東信越地区高等専門学校 英語弁論大会

英語弁論大会に参加しました

1J 川崎 澄玲

私は、関東信越地区高等専門学校英語弁論大会のレシテーション部門に参加しました。

前期から練習を始め、夏休み中に原稿の暗記、後期に入ってからジェスチャーや発表時の視線、声の大きさを中心に練習しました。

私が練習で大変だったことは大きな声を出すこと、単語のアクセント、そして、抑揚をつけることです。しかし、練習を続けていくうちに、少しずつ自分が納得できる表現ができるようになってきました。

大会の会場は東京都立産業技術高等専門学校でした。審査員と発表者との距離が近くて驚きましたが、発表は緊張せずリラックスしてできました。大会の結果はレシテーション部門で三位でした。とても嬉しかったです。

来年は、今年学んだことや他の発表者を見て気づいたことを参考にして、また、出場したいと思っています。指導してくださった先生、当日引率してくださった先生、アドバイスをくださった先輩方、ありがとうございました。



nnstring chaplin =

3J 多胡 夏樹

"2024年度の英語弁論大会のレシテーション部門に出場し、審査員特別賞を頂きました。既存の英文を暗唱する部門で、映画「The Great Dictator」のチャップリンが演じた有名な英文を暗唱しました。

この文章では、人間は合理によってのみではなく、共感性をもって生きていくべきであり、そのために自由のために戦うべきであると説かれています。

我々高専生は工学という学問分野を学んでいます。工学は、論理や合理が大変重要となります。しかし、工学による豊かな生活の先には生きている人間が存在します。チャップリンが説いたように、実生活においては、感情を忘れないように生きていくべきであると実感します。グローバル化が加速する現在において、あらゆる英知が集まる英語という言葉は重要性を増しています。今回の大会への出場をきっかけに、より英語学習に精を入れたいと思います。";



派手な外見に隠された大きなメッセージ

4C 原 華恋

今回、関東信越地区高専英語弁論大会で「Drag Queen」について発表し、3位を獲得しました。母が連れて行ってくれたドラッグクイーンショーは華やかな外見だけでなく、自己表現の勇氣や他者の個性を受け入れる寛容さを教えてくれました。彼女たちを通して、多様性や自己表現について考えてほしいと思いこのテーマを選びました。準備で最も難しかったのは、観客の皆さんに興味を持ってもらえるような、共感できるような内容にすることです。賛否が分かれる内容でありましたが、大会後には「新しい視点を得るきっかけになった」と言われ、大変嬉しく思いました。この経験を通じて、私自身の考え方も変化しました。3位を獲得できたことは喜ばしいですが、自分の考えを伝えられたことが最も大きな成果です。私の挑戦を最後までサポートしてくださった、伊藤先生をはじめ、英語科の先生方、ALTのジニー、会場まで応援に来てくれた、弁論するきっかけを作ってくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



第30回 高専シンポジウム in OKAYAMA

卒業研究室での日々

5K 安田 渉吾

この度、第30回高専シンポジウムの口頭発表において高専機構理事長賞をいただきました。今回の受賞は一年間卒業研究を続けてきた自分にとって嬉しいものでした。

私の研究では微細藻類の脂質生産効率を上げるために、脂質合成にかかわる酵素DGATのアミノ酸に変異を加え、酵素活性を向上させることに挑戦しました。うまくいかないことも夜遅くまで実験が続くことも多くありました。そんなとき、真摯に話し合ってくださった指導教員の先生方や大和田研のメンバーの支えがありました。本当にありがとうございました。研究室の狭い学生部屋で同級生と食べたカレーメシ、研究の息抜きでのフリスビー、コンタミで絶望した日、真っ黒な電気泳動の写真、すべてが思い出です。

研究室での日々は何事にも代えがたい貴重な経験になりました。この一年間の経験を生かし研究に励み続けます。



発表賞をいただきました

環境工学専攻2年 清水 弥央

2025年1月25日に岡山コンベンションセンターにて開催された第30回高専シンポジウムin Okayamaにおいて「高専シンポジウム協議会会長賞」を受賞しました。タイトルは「ハナミズキの特徴的な花成に関する遺伝子の解析」です。

本科5年次の中間発表会で思うように発表できず落胆したことから、経験を積むためにできるだけ多くの外部発表に挑戦してきました。そして7回目の口頭発表で念願の発表賞をいただくことができました。時には周りのレベルが高く、場違いに思うような状況で発表したこともありましたが、しかしながら発表することは結果がすべてではなく、そのときの最大限の実力を発揮することに意味があると思います。そうすることで次への改善点や自分の研究に足りない点がわかるようになります。研究成果をまとめあげ、他の人に伝えようと工夫することに価値があります。外部発表に興味のある学生さんはどうか失敗を恐れずに挑戦していただきたいです。



国際会議 GCCE2024 Excellent Student Poster Awards

GCCE2024受賞報告

生産システム工学専攻2年 高橋 空大

2024年10月末、福岡で開催された国際会議2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics(GCCE 2024)へポスター部門の発表者として参加してきました。日本国内を会場として開催された国際会議であったため、日本人が多く参加されていました。

初めての国際会議ということで、英語での質問が頻繁に交わされるような現場を想定し、非常に緊張していました。しかしながら、発表や質問への回答をうまく英語でできないときには日本語で説明することを認めてくれる参加者もいたため、無事に発表を終えることができました。結果として、想像と現実のギャップで緊張がほぐれたおかげなのか、ありがたいことに「Excellent Student Poster Awards」をいただくことができました。

最後になりましたが、今回の学会出席にあたり、ご支援いただきました先生方、学生支援、後援会など関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



国際会議 The 9th International Conference on "Science of Technology Innovation" 2024

国際会議 9th STI-Gigaku 2024 にて賞をいただきました

環境工学専攻2年 清水 弥央

2024年11月7日に新潟県のアオーレ長岡にて開催された国際会議 9th STI-Gigaku 2024において「Best Research Presentation Award」を受賞しました。タイトルは「Analysis of gene expression on flowering and morphogenesis in *Cornus florida*」です。このテーマは昨年からはまったものであり、試行錯誤を繰り返しながら少しずつ研究に励みました。今回は国際会議なので英語でポスター発表を行いました。加えて他分野の方にもわかりやすく伝える必要があるため、たいへん難しく感じましたが、以前の他学会への参加の経験を活かして、賞をいただくことができました。自身の研究で賞をいただいたのは今回が初めてのことで、この受賞は個人の努力だけでなく、指導教員の大岡先生をはじめとする諸先生方のご尽力のおかげです。ハナミズキがより注目される未来のために、この受賞を経て、更なる研究に励みたいと思います。



日本非破壊検査協会秋期講演会

日本非破壊検査協会秋季講演大会 新進賞を受賞して

生産システム工学専攻2年 山田 倫香

先日行われた日本非破壊検査協会秋季講演大会にて新進賞をいただきました。今回、私は「金属3D積層空冷金型を用いたアルミニウム合金プレス成形のX線残留応力評価」という題目で発表を行いました。学会参加3度目にして初めてのオフラインでの学会だったため、当日は緊張しましたが、新たな経験が出来てとても楽しかったです。これまで参加してきたオンラインでの学会とは違い、発表後に他大学の教授や企業の方から直接意見をいただける場面がありました。他にも、様々な発表を生で聞くことができ、研究内容だけでなく、プレゼン方法や質疑応答など、様々なことを学びました。この経験を今後の大学院での研究に大いに活かしていきたいです。最後に、今日まで丁寧なご指導をくださった先生方に深く感謝申し上げます。



日本銅学会第64回講演大会

学会は研究を磨く場所

環境工学専攻2年 渡辺 結加

この度、日本銅学会第64回講演大会において学生優秀講演賞「優秀賞」を賜り、大変光栄に思います。

外部での口頭発表は今回の銅学会講演大会が初めてで、そのような中で企業研究者や大学教員、大学院生がいる環境で発表できたことは非常に貴重な経験になりました。質疑応答や発表の後に、企業の方々から専門的な助言や意見をいただいたことも、自分の研究を認めていただいたように感じ、大変嬉しく思いました。また、研究をよりよくするために多くのアプローチがあることを知ることもでき、有意義かつ楽しい時間を過ごすことができました。いただいた助言を今後の研究に活かしていきたいです。さらに銅に関する幅広い研究および興味深い研究を聴くことができ、非常に勉強になりました。最後に、発表の機会を設けてくださった指導教員の羽切先生、研究にご助言いただきました深澤先生、そして講演会関係者の皆様に感謝申し上げます。



日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会

好奇心を忘れずに

環境工学専攻1年 諸田 実紗希

令和6年12月4日、量子科学技術研究開発機構高崎量子技術基盤研究所で行われた日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会にて、優秀ポスター賞を受賞しました。今回の研究交流発表会では、大学院生、大学生、高専専攻科生、高専生など計92名が参加し、ポスター形式で発表を行いました。発表を通して量子科学技術研究開発機構の方や、大学の先生から質問やアドバイスをいただき、新たな知見を多く得られた時間となりました。また、他の参加者の発表を聞き、刺激を受け、自分の未熟さを感じましたが、今回の経験と反省を活かし、さらに成長できるように試行錯誤しながら研究に励みたいと考えています。懇親会での他学生との交流も新鮮で楽しく、貴重な経験となりました。最後に、今回の研究交流発表会に参加し受賞するにあたり、日頃からご教授いただいている羽切正英先生、共同研究をいただいている諸先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。



ニュース&トピックス

関東磐越地区化学技術フォーラム

生物系研究に挑んだ材料コース

5K 久保田 快翔



この度、関東磐越地区化学技術フォーラムにて優秀ポスター賞を受賞しました。私が所属している安西研究室は今年度発足したばかりで自分が一期生のため、先輩方がおらず研究データも一から自分で集める必要がありました。また、私は材料コースに所属しているものの、生物系の研究を行う研究室のため、実験操作などの知識を新たに学ばなければならず大変でした。

私自身、学会発表もポスター発表も初めてだったことに加え、今回のフォーラムには材料系の研究を行っている先生方が多く、私が行っている生物系の研究の内容をしっかりと伝えられるかどうか不安でしたが、どのような発表内容やポスターの構図が良いか安西先生からさまざまな助言をいただき、今回賞をいただけたことでしっかりと伝えられたのだと実感しました。フォーラムの場では多くの学生や先生方から質問をいただき、自分の研究への理解を深めることができました。今回の経験を今後生かしていきたいと思います。

十石みそ物語

3K 田中 はんな



第10回関東磐越地区化学技術フォーラムにて、3K3名(田中、山口、トンカオ)と物質工学科の大岡先生で構成されるチーム「Misophile」は、ポスター発表奨励賞を受賞しました。私たちは、群馬県上野村の特産品「十石みそ」の調査研究について発表しました。発表では実際に十石みそを試食して頂きながら調査結果をまとめたポスターに沿った説明をし、発表後も多くの方からの確なご指摘を頂きました。特に、研究における科学的な観点の重要性を学ぶことができ、今後の研究活動での指針が立ったように思います。他高専の先輩や先生方のハイレベルな研究が集まる場で発表させて頂いたことはとても緊張しましたが、大変貴重な経験となりました。

当初はリサーチ入門のプレ講座として始めた研究活動でしたが、上野村での工場見学や十石みその試食体験、「発酵を科学する」および今回のフォーラムといった発表の場など、多くの方々にご支援頂きました。ご指導いただいた大岡先生をはじめ、関係者の皆様により感謝申し上げます。

トピタテ! 留学JAPAN

— 微笑みの国タイランド — タイで過ごした32日間

3M 小山 和基



私はトピタテ留学JAPANの高校生部門STEAM枠に合格し、夏休み中の32日間、タイのキングモンクット工科大学付属高専トンブリ校に留学しました。

研究テーマは「小水力発電」で、タイには多くの発電施設があり、日本の高専制度を参考にした学校で学ぶことから留学先に選びました。初めての海外生活や英語の壁にもかかわらず、タイの友達や先生方の親切さに支えられ、楽しい日々を過ごしました。

授業は英語とタイ語で行われ、テストも受けましたが、点数を気にすることなく学びました。発電所見学や専門家からの講義を通じて、小水力発電についての知見を深めました。タイ高専の寮から通って授業を受けた平日も、友達と遊びに出かけた休日もあり、充実した日々でした。約1か月の留学を通じて、将来は海外で活躍する研究者になりたいという夢を具体的にイメージできました。

留学生研修旅行

スノーボードと日本文化を満喫! 充実の二日間

4J メイ マー カイン

毎年恒例の留学生旅行は無事に終了しました。ずっと楽しみにしていたこの旅行は、あっという間の二日間でした。1日目は新潟県湯沢スキー場でスノーボードのレッスンを受けました。私たち留学生のほとんどは初心者でしたが、みんな何度転んでも立ち上がり、頑張っていました。インストラクターの丁寧な指導で少しずつ滑れるようになり、達成感を得ることができました。2日目には塩沢つむぎ記念館を訪れ、織工房と資料室を見学し、その後、塩沢織の生地を使ったストラップ、キーホルダー、コースターなどの小物作り体験をしました。みんなそれぞれ自分の好みに合わせてパーツの形や生地の色柄を選び、オリジナルの小物を作る楽しさを感じました。自分だけの作品を作り上げることにみんな大満足でした。また、「そば作り体験」では、初めて自分でそばを打つ体験を楽しみ、できあがったそばをその場で味わうことで、手作りの美味しさを一層感じることができました。この旅行を通じて、日本の伝統文化を学ぶことができ、他の留学生たちとの交流も深まりました。ずっと楽しみにしていたこの旅行で、多くの思い出と新しい経験を得ることができ、とても充実した二日間でした。



軽金属学会

希望の星???

生産システム工学専攻2年 城 敦士

この度、軽金属希望の星賞を受賞させていただきました。希望の星とまで言われてしまうと恐れ多い限りではありますが、これまでの3年間の研究成果をこのような形で評価していただけたことを心から嬉しく思います。昨年の秋に行われた学会では、大学に編入した友人2人がポスター賞を受賞するなかで自分は取り損ねるといった少し悲しい思いもしましたが、紆余曲折あって自分も一つの賞にありつくことができ、喜びとともに研究に対してより一層身が引き締まる思いです。長かったようで短く、3年間もあった高専での研究は3月で終わりとなってしまいますが、これまでに経験したことを生かして大学院でより一層努力し、賞の名前に恥じないようにできるよう勉強・研究に邁進してまいりたいと思います。

群嶺テクノセミナー

テクノセミナーで学びの楽しさを知る

地域連携テクノセンター長 市村 智康

令和6年度も全5回のテクノセミナーを群嶺テクノ懇話会主催で実施させて頂きました。

第181回では第2回学校見学会と同日午後に「理系女子応援特別セミナー」と題して、本校の深澤先生を講師に迎え、女子中学生を主な対象とした「科学でミえる放射線」をご講演頂きました。深澤先生から放射線研究におけるこれまでの経験やご活躍を伺うとともに、霧箱の実演を通して、普段は目にするのできない放射線の動きを観察させて頂きました。さらに、聴講者の女子中学生を中心にグループに分かれもらい、人体モデルが描かれた模造紙と放射性物質に模したマグネットを使って、放射性物質の特性をもとに人体のどこにその放射性物質が留まりやすいかを当てるゲームを行いました。

それ以外のご講演も表にありますように次世代抗体を応用した創薬、非線形ダイナミクスにおける超離散力学系、和歌の知られざる歴史、ビックバン研究の最前線の話題など大変興味深いお話ばかりでした。手前味噌ではありますが、こうした各分野の専門家から基礎科目を学べる高専はとても素晴らしい教育環境なのではないでしょうか。

次年度も、様々な分野の講師をお迎えしてセミナーを開催して参りたいと思いますので、是非ともご期待頂ければと考えております。

	セミナータイトル	講師	年月日
第179回	次世代抗体の現状と応用 ～抗体医薬品から基礎研究用ツールまで～	物質工学科 助教 安西 高廣	7月5日
第180回	分岐現象を有する非線形ダイナミクスに対する超離散力学系	一般教科(自然科学) 助教 大森 祥輔	10月18日
第181回	理系女子応援セミナー 「科学でミえる放射線」	物質工学科 助教 深澤 永里香	11月9日
第182回	言の葉(言葉)と向き合う 和歌の歴史	一般教科(人文科学) 准教授 難波 宏彰	12月20日
第183回	宙の始まり～インフレーション 宇宙のパラダイム	一般教科(自然科学) 准教授 渡邊 悠貴	1月10日

生物教育研究連携講演会

ナスの新たな機能性

地域連携テクノセンター副センター長 石川 英司

令和6年12月9日(月)、第16回生物教育研究連携講演会が開催されました。今回は信州大学学術研究院農学系准教授の中村浩蔵先生をお招きし、「機能性野菜ナスの開発と実用化」というテーマでご講演をいただきました。一般的に「栄養価が乏しい」と考えられがちなナスに、新たに食品機能性成分であるコリンエステルが多く含まれていることを発見された中村先生。この成分には血圧を下げる効果がある可能性が示されており、ナスが高血圧予防に寄与する機能性表示食品として市場に出るまでの取り組みが詳しく紹介されました。

特に、研究成果を基に農産物の付加価値を高める取り組みは、群馬県が日本一の生産量を誇る夏秋ナスのさらなる発展に大きなヒントを与えます。また、研究から加工・販売までを一貫して行う農業の6次産業化の成功例として、地域産業の新たな可能性を感じさせる内容でした。ナスの持つ新しい可能性が、健康志向が高まる中でどのように社会に広がっていくのか、今後の展開が非常に楽しみです。



ひらめき☆ときめきサイエンス

目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見てみよう

機械工学科 准教授 矢口 久雄

日本学術振興会の「科研費」による研究成果を社会に還元することを目的とした「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」に採択され、中学生を対象として令和6年12月24日(火)と12月25日(水)に体験学習イベント「目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見てみよう」を開催いたしました。このイベントでは、分子動力学シミュレーションによって様々な現象を分子レベルから理解するアクティブ・ラーニングに加えて、液体窒素実験やレーザ加工実験、風洞実験などを通じて、参加者に科学の面白さや高専の雰囲気を感じていただきました。実施にあたっては、流体研究室所属の学生たち、教育研究支援センターの浅見様と鍵谷様に大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



スマート・サイエンス・スクール

未来の科学者・エンジニアへの第一歩

物質工学科 教授 羽切 正英

理科や科学技術に興味を持つ中学生たちが高専に通い、研究・探求活動を体験する「群馬高専スマート・サイエンス・スクール (SSS)」が今年度も開催されました。開催にあたっては各専門学科の先生方から沢山のテーマをご提示いただくとともに、多くの中学生からの申し込みがあり、当初予定を超える42名の中学生を群馬高専に迎えることができました。

参加者は7月20日に開校式に出席したのち、高専に数回足を運び、テーマごとに様々な研究・探求活動に取り組みしました。12月21日の開校式・報告会では、参加した中学生たちがその成果を自ら発表してくれました。活動内容を立派に発表するだけでなくとどまらず、ユーモアや実演を交えた発表もあり、参加者した中学生たちの理解力や意欲の高さ、舞台度胸(!?)に驚かされました。今回のSSSは、教員・技術職員によるご指導に加え、事務部の皆様の心強いバックアップのもと、まさにスマートに実施することができました。参加いただいた中学生のみなさん、指導や運営にあたってくださった教職員や補助学生の皆さん、ほか実施を支えていただいたすべての方々に、篤く御礼を申し上げます。



令和6年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏 名	学 科 名
小 池 奏太郎	機 械 工 学 科
野 口 蒼一郎	電 子 メ デ ィ ア 工 学 科
石 井 順 成	電 子 情 報 工 学 科
安 田 涉 吾	物 質 工 学 科
金 子 拓 生	環 境 都 市 工 学 科

2. 課外活動功労賞

氏 名	クラス	対 象 事 項
小 澤 雄 太	5K	男子寮長
三 井 知 世	5J	女子寮長
本 島 琉 矢	5J	工華祭実行委員長
武 藤 瑞 生	5J	陸上競技部部長
小 林 志 門	5C	硬式野球部主将
原 澤 伶	5E	サッカー部部長
渡 邊 陽 貴	5K	バレーボール部男子部長
小 林 美 遥	5C	バレーボール部女子代表
町 田 日 葵	5M	バスケットボール部男子キャプテン
森 脇 憩	5K	バスケットボール部女子キャプテン
丹 羽 晃 崇	5K	ソフトテニス部部長
関 口 凱 斗	5E	卓球部男子部長
森 本 莉 紗	5K	卓球部女子代表
小 林 光 希	5C	柔道部部長、構造デザイン研究会代表
鈴 木 遼太郎	5J	テニス部長
南 周 太	5E	バドミントン部長
平 川 大 樹	5J	水泳部部長
小 暮 勇 輝	5J	文芸部部長
上 坂 一 貴	5C	写真部部長
中曾根 瑠 香	5J	美術部部長
坂 地 悠 太	5K	理科部部長
石 井 順 成	5J	電算部部長
石 川 涼 人	5K	将棋部
宮 田 一 穂	5C	コンクリートカヌー愛好会
新 井 優 生	5M	エコノパワー愛好会会長
久 保 瑞 香	5E	ダンス愛好会会長

3. 特別功労賞

氏 名	クラス	クラブ名	対 象 事 項
荒 井 日菜子	5C		第35回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト 特別賞
菊 池 静 琉	5C		
後 藤 順 太	5C		
松 村 拓 弥	1-5 (C)	自転車愛好会	第30回全日本自転車競技選手権大会 シクロクロス 3位
角 屋 玲 那	2-2 (K)	水 泳 部	令和6年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 女子50m自由形 優勝
黒 澤 一 輝	2-5 (K)		令和6年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 男子100m背泳ぎ 優勝 男子200m背泳ぎ 優勝

4. 卒業研究優秀賞

氏 名	学 科 名	研 究 題 目
高 橋 純 大	機 械 工 学 科	AC4B合金の表面酸化に及ぼす 微量添加元素の影響
金 谷 諒 汰	電子メディア工学科	モンテカルロ法による 吸着原子の表面拡散シミュレーション
石 井 順 成	電子情報工学科	VNAを用いたDC/DCコンバータの出力 インピーダンス評価
久保田 快 翔	物 質 工 学 科	がん細胞で高発現する酵素CD73に対する 一本鎖抗体の調製
後 藤 順 太	環境都市工学科	三次元表現を用いた河川状況可視化システムの プロトタイプ開発と実用性の検討

5. その他(学会からの表彰等)

氏 名	クラス	対 象 事 項
小 島 隼 人	5M	一般社団法人日本機械学会 昌山賞
長 壁 孝太郎	5M	公益社団法人日本設計工学会 武藤栄次賞優秀学生賞
上 原 蓮 汰	5M	公益社団法人計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
久保田 快 翔	5K	第10回関東信越地区化学技術フォーラム 優秀ポスター賞
安 田 涉 吾	5K	第30回高専シンポジウム(主催:一般社団法人高専シンポジウム協議会) 独立行政法人国立高等専門学校機構理事長賞
土 屋 頼 生	5K	日本化学会関東支部支部長賞
島 田 樹	5C	全国高専土木工学会 近藤賞
城 敦 士	AP	一般社団法人軽金属学会 軽金属希望の星賞
高 橋 空 大	AP	国際会議 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics Excellent Student Poster Awards, Outstanding Prize
山 田 倫 香	AP	日本非破壊検査協会秋季講演会 新進賞
清 水 弥 央	AE	国際会議 The 9th International Conference on "Science of Technology Innovation" 2024 Best Research Presentation Award 第30回高専シンポジウム(主催:一般社団法人高専シンポジウム協議会) 高専シンポジウム協議会会長賞
渡 辺 結 加	AE	日本銅学会第64回講演大会 学生優秀講演賞 優秀賞

編集後記

群馬高専を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます!本校での数年間はいかがでしたか? 私は私でこれまで学校広報関係の業務に計4年間携わってきましたが、その間にも世の中や学校を取り巻く環境は大きく変わったと感じます。変化の速い時代ですが、そんな中でも本校の良さをアピールできるよう今後とも腐心していきたいと思っています。また皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

(広報委員長 高橋 徹)